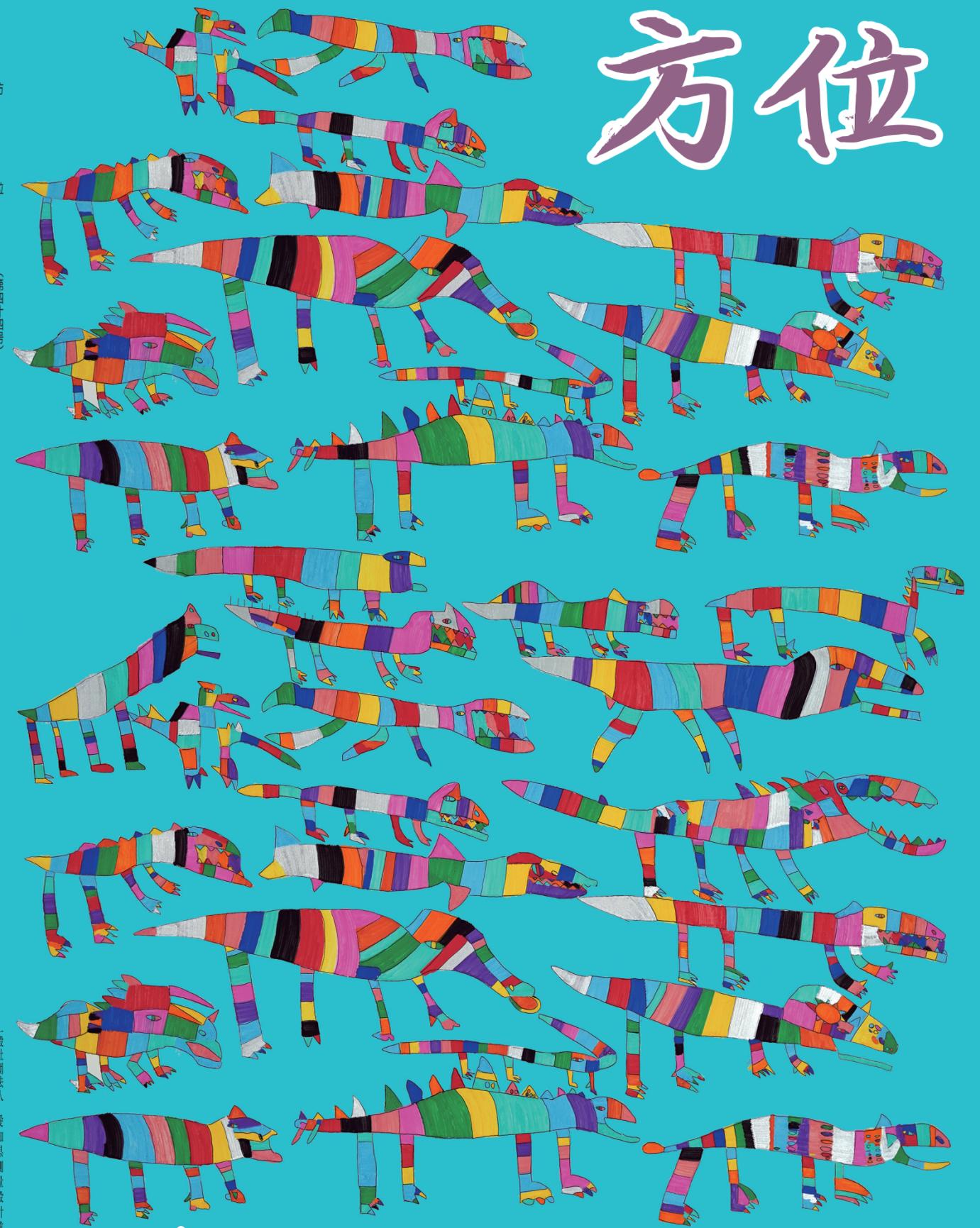
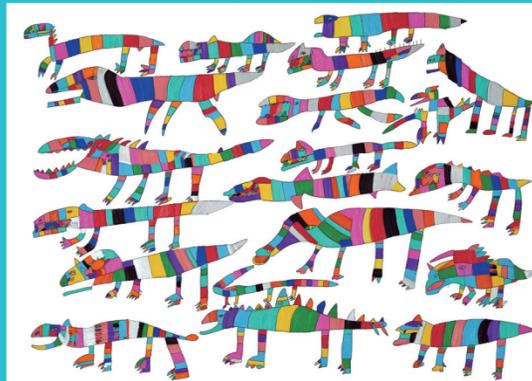


# 方位

方

位

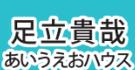
(第44号)



一般社団法人  
愛知県測量設計業協会



愛知県測量設計業協会は、障がいがありながらも自立を目指す才能のあるアーティストを応援します。  
アート・福祉・地域活性・経済活動をつなぐ新しいかたちとして誕生した、アティックアートの活動の輪を社会に広げていきたいと思ひます。

 (一社)愛知県測量設計業協会 ×  アティックアート ×  足立貴哉  
あいうえおハウス



一般社団法人

2021-10 第44号

愛知県測量設計業協会

## 一般 社団法人 愛知県測量設計業協会について

昭和49年11月、社団法人愛知県測量設計業協会は愛知県知事の認可を得て正式に発足しました。

「測量業」の生立ちは、昭和24年6月測量法の公布により、測量技術者の資格と担当範囲が制定され、ここに測量業者の誕生となり、昭和36年6月の測量法一部改正により、測量業の登録制度が法制化されました。

測量業者の組織では、昭和36年8月社団法人全国測量業協会が発足し、全国に8支部を設置。当地区にも中部支部が設置され活発な事業を展開しました。各県に会員が増加し、昭和42年8月支部内に愛知県支会が発足、地域独自の諸問題に対処してまいりました。その後、県内独自の組織の強化が叫ばれ、支会の公益法人化を目指し、昭和49年11月愛知県知事の認可により社団法人の資格を得、社団法人愛知県測量設計業協会が発足致しました。

「公益法人改革3法」が平成20年12月1日から施行されたことに従い、私共は

一般社団法人化を目指すこととしました。愛知県建設部の御指導を賜り、平成25年4月1日付けで移行許可を受けることができました。

今後とも、非営利法人の自覚のもと、公益事業として、測量設計無料相談所の設置運営、災害等緊急時協力体制の整備確立等の地域社会への貢献、会員の親睦と団結、技術の研鑽等の研修活動、各種要望、陳情活動、並びに協会の広報活動等々、協会の目的達成のために、幅広い活動を展開して参ります。

創立以来、関係機関の皆様からの厚いご支援、ご鞭撻のお蔭を持ちまして、当協会も順調に推移してまいりましたが、昨今の業界を取り巻く環境は厳しく、健全な発展を図る為に、更に一層のご支援、ご鞭撻をお願いする次第であります。

会員一同は、一致団結してこの難局に対処致し、地域社会への貢献、技術の向上、経営の安定化、社会的地位の向上等々に、尚一層取り組んで参りたいと存じます。

### 協会の主要な事業

- (1) 測量、調査、設計、技術等の向上の為研修及び講習会の開催
- (2) 測量及び設計業の技術及び経營業務の改善に関する調査研究
- (3) 災害復旧における技術援助計画の立案及び実施
- (4) 関係機関及び各種団体との連絡及び提携
- (5) 測量及び設計業の社会的使命に関する宣伝及び啓蒙
- (6) 県民無料測量及び設計相談所の開設
- (7) その他本会の目的を達成する為に必要な事業

# 「方位」 第 44 号の刊行にあたって

広報委員会

委員長 永草 新吾

恒例となりました年一度、皆様にお届けしている「方位」ですが、本年も第44号が完成し、刊行することが出来ました。県民の皆様、一人でも多くの方々に読まれ、社会資本整備の必要性を再認識していただくと共に、理工系の大学生、専門学校生、高校生の学術資料になればと、今回も2000部を用意いたしました。県内全ての公立図書館・官公庁・大学・高校等で読み親しんでいただければ幸いです。

今年7月静岡県熱海市で痛ましい土石流災害が発生しました。被災されました皆様、ならびにご家族、ご関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。国が「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」への取組みを推し進めているところですが、改めて自然の脅威を思い知らされました。

この国土強靱化をより効率的に進めるためには、デジタル技術の活用が不可欠です。国土交通省では、インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーションの取組みを省横断的に推進するため、「国土交通省インフラ分野のDX推進本部」を開催し、インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション施策をとりまとめています。また、愛知県ではこうした国の動きを受け、「あいちDX推進プラン2025」を策定しています。

今号の特集では、国や県をはじめとし会員企業での「デジタル・トランスフォーメーションの取組み」について紹介しています。

公益事業への取組みでは、「愛知県学校農業クラブ連盟平板測量競技会」への支援、国土地理院中部地方測量部との協働による「測量の日」の関連事業として県内小中学生を対象に関催されております「地図教室と測量体験学習」の様子を紹介しています。

協会トピックスでは、当協会会員企業で新たに社長に就任した新社長に就任の抱負、同社の取組み等を紹介していただきました。また、前号に引き続き、学生や転職入職者の皆様には、会員企業の新入社員（入社3年目）及び若手・中堅技術者からの投稿を掲載しています。就職活動の一助となれば幸いです。

また、今回は愛知県建設局長 道浦 真 様からの巻頭言をはじめ、特集では、国土交通省中部地方整備局 様、愛知県建設局 様からと多くの方に寄稿頂いたことに対し、皆様に厚くお礼申し上げます。

最後になりますが、この「方位」を多くの皆様に読んでいただき、当協会活動の社会的認知度がさらに向上できるよう努めてまいりますので、ご指導・ご支援をお願いする次第です。

## 目次

一般社団法人 愛知県測量設計業協会について	1
「方位」第44号の刊行にあって	2

### 挨拶と巻頭言

刊行にあたり	今村 鐘年	5
刊行に寄せて	道浦 真	6

### 特集 「デジタル・トランスフォーメーションの取り組みについて」

1. インフラ分野の DX 推進 - 中部インフラDX ソーシャルラボ中部インフラDX センターの整備 -	国土交通省 中部地方整備局	7
2. 愛知県における DX		
(デジタル・トランスフォーメーション) の取り組みについて	野澤 清司	9
3. 愛測協 会員の DX 取り組み		
(1) 当社における DX の取り組みと本来のDXの在り方	村田 享	11
(2) 都心の河川測量を3次元計測に変えて (3D デジタル化の試み)	嶺山 千明	13

### 公益事業への取り組み

1. 平板測量競技会への支援	吉本 三広	15
2. 地図教室と測量体験学習	吉本 三広	16

### 協会トピックス

1. 新社長紹介	17
2. 新入社員紹介 (入社3年目迄)	19
3. 若手中堅技術者からの投稿	23

### 協会委員会活動報告

1. 協会活動報告	27
2. 総務委員会	32
3. 広報委員会	33
4. 測量委員会	34
5. 建設コンサルタンツ委員会	35
6. 危機管理委員会	36

## 会員紹介（ア行）

1. (株)アイエスシイ ..... 37
2. (株)あづま ..... 38
3. アローコンサルタント(株) ..... 39
4. (株)大增コンサルタント ..... 40

## 紹介

- 協会顧問の紹介 ..... 41
- 役員名簿 ..... 43
- 委員会名簿 ..... 44
- 会員名簿 ..... 45
- 
- 広告 ..... 47
- 編集後記 ..... 巻末

表紙 揮毫「方位」..... 一般社団法人 愛知県測量設計業協会会長  
今村 鐘年

表紙（絵） アティックアート

# 挨拶と巻頭言

## 刊行にあたり

(一社) 愛知県測量設計業協会  
会長 今村 鐘年



機関紙「方位」第44号の刊行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私ども愛知県測量設計業協会は創立以来、国土交通省、愛知県を始めとする地方公共団体の方々、並びに顧問団の先生方の温かいご支援を頂き、今日に至っております。

改めて、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症との戦いに明け暮れた1年でありました。日本を始め世界各国で蔓延し、各国の経済、雇用、グローバルでの交通形態にまで大きな影響を与え、近年では経験したことのない厳しい状況が続いています。

コロナ禍にあっても事業の継続が求められる業界として、感染症対策を徹底し、業務を遅延することなく「継続すべき業務を担う業界」との強い認識のもと、日々の行動に努めています。

又、改正労働基準法を順守し、働き方改革の一層の推進、改正品確法を踏まえた更なる品質の確保、生産性の向上、更には近年頻発する災害時の緊急対応に積極的に取り組んでいます。業界は、経営基盤を安定させ、労働環境の改善や人材育成等、『魅力と働きがいのある業界』への発展を目指しています。

平成28年の熊本地震、平成30年の西日本豪雨災害、令和元年度の東日本台風、最近では7月に熱海市で土石流災害が発生する等、近年自然災害が多発しております。

広域・激甚災害から国民の生命、財産、暮らしを守るための事前防災や災害復旧対応の迅速化、更には老朽化が進む社会インフラに対する維持管理への対応が求められ、中長期的な視点に立った安全・安心な国土づくりの基礎を支えるため、私ども測量設計業が果たすべき役割は一層高まっています。

公共事業費の安定的な確保に加え、昨年末に「防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策」として、事業規模概ね15兆円程の予算措置が決定されました。

技術者単価は、平成25年から9年連続で引き上げとなり、平成24年比30.9%（全職種平均）上昇しました。

公共事業費予算は確保されつつありますが、技術者単価のアップ率に追いついておらず、事実上、事業量の減少ではないかと危惧する一方、業界全体に明るい兆しが戻りつつあると感じています。

社会構造が急速に変化する中、特にDX（デジタル・トランスフォーメーション）の活用による三次元地理空間情報基盤の整備の必要性など、測量設計業界がその推進役として活躍すべき、新たなチャンスを迎えているものと思っています。

今刊は、社会的に大きく変化しようとする「DXの取組み」について、国土交通省、愛知県の取組み、更には協会員の取組みを特集しましたので、行政機関の動向や会員企業の取組み等を参考にして頂ければ幸いです。

このように変化する中、「働き方改革」の実現のための環境整備を進め、測量設計業の経営の安定と将来を担う人材の確保・育成を図り、社会資本整備に貢献するため、行政機関との連携を深め、大転換期にある測量設計業界を大きく発展させるために全力を尽くしていきたいと思っています。

協会員は、日頃から『協調と競争』をキーワードに行政機関の良きパートナーとしての自覚を持ち、『夢のある産業』を目指し、日々研鑽・啓発に努めて参ります。引き続き、行政機関の皆様には協会並びに協会員に更なるご支援・ご指導をお願い申し上げます。

## 刊行に寄せて

一般社団法人愛知県測量設計業協会の会員の皆様方におかれましては、日頃より技術の研鑽、測量設計業の健全な発展に努められ、とりわけ、コロナ禍においてもいわゆるエッセンシャルワーカーとして、感染拡大防止対策をとりながら業務を継続いただき、社会インフラの整備や地域社会の発展に大きな役割を果たしてこられたことに深く敬意を表します。

また、本県との防災協定の締結など、県政全般にわたり格別の御支援、御協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

本県では、2025年度までに建設部門が進めていくべき取組方針を示す「あいち社会資本整備方針 2025」を昨年12月に策定いたしました。この方針においては、「未来を拓き、暮らしに寄り添う社会資本づくり」を理念に掲げ、日本一元気な愛知として日本経済の力強い回復や日本の成長を牽引し、県民の生命、財産を守り安全で安心な生活を支えるとともに、魅力にあふれ快適に暮らすことができる持続可能な社会の実現を目指しています。

2020年代の愛知県においては、愛知万博の理念と成果を継承し、スタジオジブリの世界観を表現した唯一無二の公園施設であるジブリパークの2022年開業、アジア最大のスポーツの祭典であるアジア競技大会の2026年開催、そして、2027年度のリニア中央新幹線の開業など大きなプロジェクトが控えています。

特にリニア中央新幹線の東京都一名古屋市間の開業のインパクトを最大限に活かしていく必要があります、名古屋駅のスーパーターミナル化や中部国際空港の二本目滑走路整備促進、さらには、西知多道路、名豊道路、三遠南信自動車道をはじめとした広域幹線道路ネットワークの整備や物流の拠点とな

る名古屋港、三河港、衣浦港の機能強化の取り組みなど、社会インフラの戦略的な整備に取り組んでまいります。

一方で、県民の安心・安全な暮らしを支える社会資本の整備、適切な維持管理にもしっかり取り組んでいきます。発生が懸念されている南海トラフ地震や、全国で頻発化・激甚化している風水害への対応として、昨年度補正予算から開始された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を強力に推進し、ハード、ソフトの両面から強靱な県土づくりを進めていきます。

また、高度経済成長期に集中的に整備され急速に老朽化が進む社会インフラについては、個別施設計画に基づいた点検・診断、修繕・更新などのメンテナンスサイクルの構築や予防保全型の維持管理の導入など、将来の県民生活や社会経済活動を守る対策にしっかりと取り組んでまいります。

労働環境に目を向けますと、日本全体の生産年齢人口が減少する状況下で、建設業界におきましても、就業者の高齢化や次世代を担う若手技術者の不足など厳しい状況に直面しております。このため、施工時期の平準化やDXによる業務効率の向上などにより、働き方改革の促進や建設現場の生産性の向上を推進していかねばなりません。

これらの施策を着実に進めていくためには、皆様方の確かな技術力と豊富な知識や経験が必要不可欠であります。

本年も、業界の皆様とともに、本県の社会インフラの整備を停滞させることなく推進してまいります。今後とも、本県の建設行政に一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げます。

愛知県建設局長  
道浦 真



# 特集「デジタル・トランスフォーメーションの取り組みについて」

## インフラ分野の DX 推進

### — 中部インフラ DX ソーシャルラボ 中部インフラ DX センターの整備 —

国土交通省 中部地方整備局  
中部インフラ DX 推進室

#### 1. はじめに

国土交通省では、令和5年度までに小規模なものを除く全ての公共事業における BIM/CIM 原則適用に向け、段階的に拡大されます（表1）。国土交通省職員はもちろんのこと国土交通省の業務や工事を受注する民間企業も含めて、BIM/CIM を活用できるような環境を整備しました。

中部地方整備局では、本局に自治体や建設分野に限らず幅広い企業との交流フィールドとして最新技術の情報を共有し、DX（デジタ

ル・トランスフォーメーション）により実現する世界を協同する場とし中部インフラ DX ソーシャルラボを設置し、中部技術事務所に3次元モデルを活用したバーチャルフィールドと、研修を行う拠点として中部インフラ DX センターを設置しました。それぞれの施設と連動しデータを提供する場として i-Construction モデル事務所の新丸山ダムをリアルフィールドとし3Dデータの実運用を実施していきます。（図-1）

表—1 BIM/CIM 活用原則適用の進め方(案) (一般土木、鋼橋上部)

	R2	R3	R4	R5
大規模構造物	(全ての詳細設計・工事で活用)	全ての詳細設計で原則適用(※) (R2「全ての詳細設計」に係る工事で活用)	全ての詳細設計・工事で原則適用	全ての詳細設計・工事で原則適用
上記以外 (小規模を除く)	—	一部の詳細設計で適用(※) —	全ての詳細設計で原則適用(※) R3「一部の詳細設計」に係る工事で適用	全ての詳細設計・工事で原則適用

令和2年度に制定した「3次元モデル成果物納品要領(案)」を適用する

図—1 インフラ分野の DX 推進に向けた環境整備



## 2. 施設概要

### 2. 1 中部インフラ DX ソーシャルラボ

中部インフラ DX ソーシャルラボは、デジタル機器を導入したショールームと会議室で構成されています。

ショールームには、3D 設計による構造物ホログラムやインフラ分野の DX 推進に取り組みを紹介する映像コンテンツがあり、VR ゴーグルを装着してバーチャル空間が実感できます。会議室には、110V 型大画面とオンライン会議システムを備え、自治体や建設分野に限らず幅広い企業・人材との交流フィールドとして

最新技術の情報を共有し、DX により実現する世界を協同する施設として活用できます。



\*\*\*\*\*

### 2. 2 中部インフラ DX センター

中部インフラ DX センターは、1 階に体験エリア 2 階に研修エリアとして構成されています。体験エリアには、①中部地方整備局によるインフラ DX 推進への「取り組みを映像で紹介するコーナー」、②ウェアブルカメラを用いて、遠隔地にいる監督員がカメラを装着した人の見ているものをパソコン等で確認し現場臨場することが可能となる「遠隔臨場による非接触型技

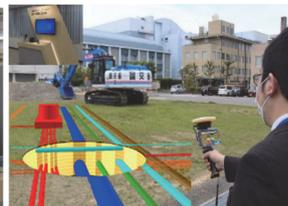
術の体験コーナー」、③現場に完成物の 3D モデルを重ね合わせ出来上がりイメージの共有や、設計の不具合を事前に確認できる「完成物の AR 画像を用いた高効率作業技術体験コーナー」、④臨場感あふれる VR 映像で現場を疑似体験し、遠隔地に行かなくても何が問題となっているのかをオフィスにしながら確認ができる「VR 技術による現場の疑似体験コーナー」等を用意しました。



①取り組みを映像で紹介するコーナー



②非接触型技術の体験コーナー



③AR 画像を用いた体験コーナー



④VR 技術による疑似体験コーナー

\*\*\*\*\*

## 3. 今後の取り組み

今回、中部インフラ DX ソーシャルラボ、中部インフラ DX センターは、インフラ分野の DX を推進する交流フィールド、バーチャルフィールドと研修等を行う拠点として整備しました。

今後は、日々進化する技術情報の取り込みや各種データの更新を逐次行っていきます。特に、i-Construction モデル事務所の新丸山ダムの 3D 設計データの更新や、モデル事務所に追加された紀勢国道の熊野道路や設楽ダムの設計データなども取り込んでいきます。

## 4. おわりに

令和 5 年度の BIM/CIM 活用の原則適用に向け、3 次元情報の利活用ができる人材の育成は急務である。中部インフラ DX センターは、人材育成の拠点として、研修等を実施していきます。

また建設現場の生産性向上を図るためには、i-Construction の取り組みを国の直轄工事以外にも拡大していくことが重要である。地方公共団体や地域企業の取り組みのサポートや、職員・作業員への研修等も行い、取り組みを進めていきます。

## 愛知県における DX(デジタル・トランスフォーメーション)の取り組みについて

愛知県建設局土木部建設企画課  
課長補佐 野澤 清司

### 1. はじめに

愛知県においては、2022 年秋の開業を目指すジブリパークや、2026 年のアジア競技大会の開催、2027 年度のリニア中央新幹線 東京・名古屋間開業といった本県のさらなる飛躍につながるプロジェクトが進んでおり、社会資本が果たす役割は一層重要になっています。

一方、本県人口の長期的な見通しによると、出生率が現状程度で推移する場合、2020～2025 年頃をピークとして減少に転じるとされ、0～14 歳の若年人口及び 15～64 歳の生産年齢人口が減少する中、65 歳以上の老年人口は 2050 年頃まで一貫して増加を続ける見込みであり、高齢化の進行とともに労働力の低下が懸念されます。(図 1)

また、全国的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、外出自粛や移動制限の下、在宅勤務を中心としたテレワークやオンライン会議の積極的な活用がされています。

このように社会情勢が大きく変化する中、建設業界を取り巻く環境は、発生が懸念される南海トラフ地震や気候変動の影響により頻発・激甚化する自然災害への対応、進行するインフラ老朽化への対応など、喫緊の課題が多くあります。今後も社会資本を維持し、持続的な成長を確保するためには、DX による業務・サービスの高度化、それによる生産性向上が重要であり、本県における DX の主な取り組みを紹介します。

※( ) 内は高齢化率

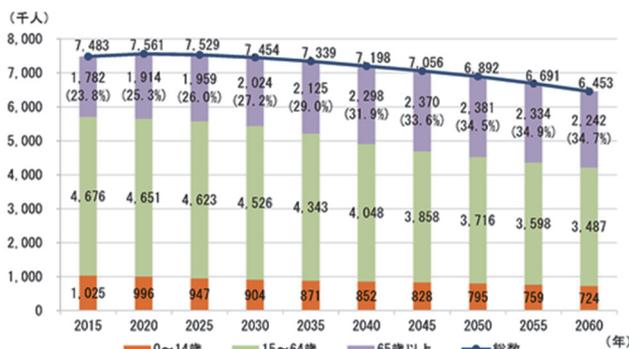


図 1 本県人口の長期見通し<sup>1)</sup>

### 2. 愛知県における DX の全庁的な取り組み

#### (1) 愛知県 DX 推進本部の設置

本県では、庁内横断的に県行政のデジタル化等を強力

に推進する司令塔組織として、知事を本部長とする「愛知県 DX 推進本部」を 2020 年 10 月 30 日に設置しました。今後は、DX 推進本部が中心となり、行政のデジタル化をより強力に推進し、DX に向けて全庁的に取り組んでいく予定です。

#### (2) 「あいち DX 推進プラン 2025～デジタルで生まれ変わる愛知～」の策定

2020 年 12 月に本県における ICT 利活用・DX 推進の今後の展開の指針を示す「あいち DX 推進プラン 2025～デジタルで生まれ変わる愛知～」を策定しました。プランの計画期間は 5 年間 (2021～2025 年度) とし、4 つの視点・柱を設定し、これに対応した 6 つの主要取組事項を実施することとしています。(図 2)

視点・柱	主要取組事項
① 県行政の効率化・DX の推進 (県民の利便性向上)	1 先進的な ICT を取り入れた業務変革
	2 ICT 環境のモバイル化
	3 行政手続のデジタル化
② データの活用	4 官・民における積極的データ活用
③ 県域 ICT 活用支援	5 県全体の情報化の推進
④ デジタル人材育成	6 デジタル人材の育成

図 2 あいち DX 推進プラン 2025

視点・柱と主要取組事項との相関

#### (3) 在宅勤務の推進

本県では、2020 年 1 月からテレワーク用端末 100 台を導入し、在宅勤務を試行実施していましたが、2020 年 12 月末までにテレワーク用端末を新たに 1,000 台追加配備することに併せて、テレワーク用端末を利用せずに在宅勤務を実施する場合、職員個人の携帯電話から職場への通話料が公費負担となる通信サービスを新たに導入する等、職員の在宅勤務の推進を図っています。

### 3. 愛知県建設部門における DX の取り組み

#### (1) 建設部門 DX 推進プロジェクトチームの設置

建設部門としては次の 4 点について重点的に取り組むため、2021 年 2 月に本庁各課及び建設事務所等の職員を構成員とする「建設部門 DX 推進プロジェクトチーム」を設置しました。今後、このプロジェクトチームにおいて、取組主体や取組スケジュール等も含めた「行動計画」を策定し、建設部門の DX を推進する予定です。

#### 【重点的に取り組む事項】

① 業界と連携した取り組みの強化 (ICT 施工、遠隔臨

場、情報共有システムの普及拡大、実行可能な BIM/CIM の検討等)

- ②リモートワークの実効性の強化
- ③Web コミュニケーションの強化
- ④災害時対応における機動性の強化

(2) 「ICT 活用工事」の導入推進

2016 年度から大規模な土工・舗装工で「発注者指定型」により、ICT 活用工事の取組を開始し、これまで実施対象工種を追加する等、導入の推進に取り組んできました。今年度も実施対象工種をさらに追加し、当面の目標としては、ICT を活用した工事の実施率を 2025 年度までに 100%※1 とすることを目指しています。

※1 土工量 1,000m<sup>3</sup> 以上の工事、ただし、地形などの施工条件により実施効果が見込まれないものは除く。

(3) 遠隔臨場の試行実施

発注者と請負者の作業効率化と新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図ることを目的に、愛知県建設局及び都市・交通局が発注する工事の建設現場における施工状況の確認作業に、ウェアラブルカメラ等の ICT (映像及び音声の配信・記録) を用いる遠隔臨場の試行実施を 2021 年 6 月から開始しました。本年度においては、発注者指定型で 30 件程度を予定しており、それ以外の工事は受注者希望型として、請負者からの協議を受け付ける形での実施を予定しています。工事完了後、発注者と請負者にアンケートを依頼し、取組効果の検証及び課題の抽出を行ってまいります。(図 3)

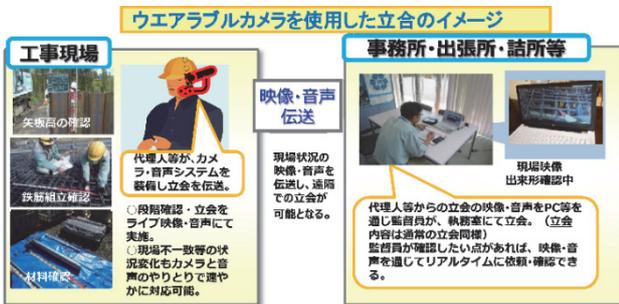


図 3 遠隔臨場のイメージ (中部地方整備局 HP より)

(4) 情報共有システムの普及拡大

情報共有システムは、これまで紙でやり取りしていた工事打合せ簿など受発注者間の工事書類について、インターネットを用いて提出、確認、承認及び保管することができるシステムです。システムを利用することにより、受注者が工事書類の提出や受取のためだけに発注機関へ出向く移動時間を省くことができ、現場を離れる時間を減らし、現場に集中できるなど生産性向上に資することを最大の目的としています。また、提出された書類の確認(決裁)状況がシステム上で見えるため、監督員のレスポンス意識の向上にも寄与するものと考えられます。

本県では、建設局及び都市・交通局において 2020 年 4 月から原則すべての工事を対象として情報共有システムを利用しています。また、愛知県企業庁においては 2021 年 4 月から原則すべての工事を対象としているほ

か、建築局、農業水産局及び農林基盤局においても受注者希望や契約図書等で指定するなど対象工事の拡大が図られています。(図 4)

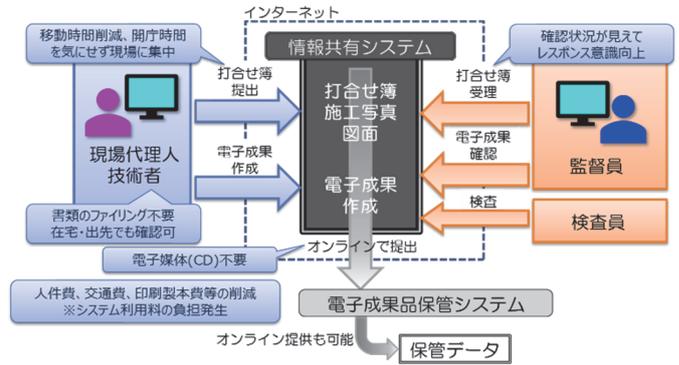


図 4 システムの概要

(5) 実行可能な BIM/CIM の検討

国土交通省では、令和 5 年度までの小規模を除く全ての公共工事において、原則 BIM/CIM を適用することを掲げており、本県においても試行に向け、現在検討を進めているところです。現状として、対応できる技術者の不足や県のレベルに即した利用方法が定まっていないなどの課題があるため、国の動向を注視していくとともに、愛知県 i-Construction 推進協議会等の場において、業団体の皆様の意見を聞きながら実効性のある取り組みを検討してまいりますと考えています。

(6) 「統合情報データベース」の整備

建設部門が保有する各種データを統合的に管理し、部門内外との情報共有を高度化するため、保管管理システムに格納された電子成果品を既存の施設台帳等の管理施設データと関連付け、統合型 GIS と連携することにより管理する「統合情報データベース」の整備を今後、進めていきます。今年度はデータベースのルールを整備する予定です。(図 5)

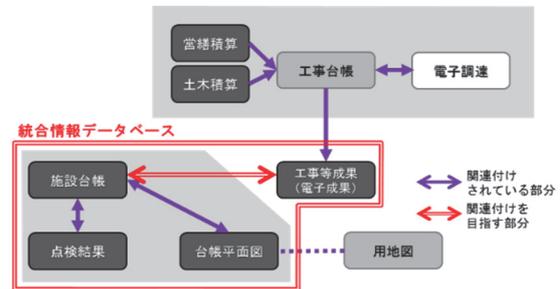


図 5 統合情報データベースの概念

4. おわりに

本県では、これまで情報通信技術を活用して豊かな県民生活と活力ある地域社会を実現するための取り組みを進めてきました。今後も、本稿でご紹介した取り組みのみならず、業務変革に資する DX の取り組みをより一層推進してまいりますので、ご支援賜りますようお願いいたします。

参考文献

- 1) 愛知県、第 2 期愛知県人口ビジョン、2020 年

## 当社におけるDXの取り組みと本来のDXの在り方

株式会社大增コンサルタンツ  
総務部 次長代理 村田 享

2020年9月、第60期の経営方針発表と同時に当社のデジタル・トランスフォーメーションは始まりました。

それまでも基幹システムの導入・活用など、デジタル化は進められていましたが、経営方針として大々的に取り上げてDXを進めていくにあたり、ITコンサルタンツとも契約しました。

当社で進めた施策は次のとおりです。

### ①全社無線LAN化

④のモバイル機器導入に備え、まずは社内の無線LAN化を実現しました。

これにより、モバイル機器を持つ社員は社内のどこでもネットワークにつながられるようになり、フリーアドレスの実現に寄与するとともに、会議での紙資料の削減や議事録作成の効率化など、業務効率化にも大きく貢献しました。

### ②WEB会議環境構築

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、全社員が集合することが難しくなったことにより、WEB会議の導入を進めました。

各支店に大型モニターを設置し、WEB会議ツールによる全社会議を実現しました。テレワーク時のミーティングなどもWEBで行うことにより、移動時間の削減などの効率化に寄与しています。

### ③IT資産管理の一元化

これまでExcelシートへの手入力で管理していたものを、資産管理ソフトによる管理へ切り替えました。

社内のネットワークに接続されている機器は自動で機器情報を取得するため、入力の手間の削減、入力ミスによる無駄な時間の削減を行い、必要な情報をパソコンの画面ひとつで確認できる状況を実現しました。

### ④モバイル環境の整備

これまでデスクトップ型だったパソコンを順次モバイル型に入れ替え、無線LAN環境下で業務の効率化を

目指すとともに、テレワークやフリーアドレスの実現に寄与しました。

### ⑤チャットツール導入

Slackを導入し、社員間のコミュニケーション活性化を図りました。

全社員が参加しているチャンネルに投稿することにより、瞬時に複数の社員からの回答を得ることができ、情報収集の効率化に大いに寄与しています。

テレワーク中も連絡のやりとりが容易で、社外にいても社内の状況がよくわかるようになりました。

### ⑥Eメールのクラウドサービス化

メールデータが端末内に保存され、パソコンの入替時や環境が変わったときなどに不便な思いをしていましたが、クラウド化によりどの端末でも同じ環境でメールの送受信ができるようになり、大変便利になりました。

今後はメールに付属するカレンダー機能も有効に活用し、更なる効率化を図っていきたいと考えています。

### ⑦スマートフォンを活用した電話環境構築

社内での固定電話での対応を社外でも同じようにできるよう、持ち出し可能なスマートフォンに固定電話と同様の機能を持たせるサービスを導入しました。現時点ではまだスマートフォンの準備中であり、運用を開始していませんが、これまで会社支給の携帯電話を持たせていた社員もスマートフォンに入れ替え、クラウドメールやSlackアプリも使用できるようになることで、外出先でも円滑なコミュニケーションを図れるようになり、情報共有や業務の効率化が見込まれます。

### ⑧VPN環境の改善

テレワーク時に社内のネットワークに接続する速度が遅いという意見に対し、回線の設定を変更することでVPNの接続環境を改善しました。これにより社外からアクセスした際の処理速度が大幅に改善しました。

### ⑨RPA導入検討

業務の自動化を進めるため、対象業務の抽出とRPA化の検討を行いました。

業務の抽出は行ったものの、RPA化するにはコストとのバランスが悪く、導入には至っていませんが、今後も可能性のある業務の抽出は継続して行っています。

#### ⑩テレワークの促進

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い急速に広まったテレワークですが、当社も積極的に実施を推進しています。

とはいえ、モバイル機器が社内にも市場にも不足しており、共有のモバイル型パソコンを交代で持ち帰ってテレワークを実施するといった方法から始め、徐々にモバイル端末への入れ替えを進めているところです。

チャットツールやクラウドメールの導入と併せてテレワーク環境の整備は着実に進んでおり、実施率も徐々に上がってきています。

実施開始当初は生産性が落ちるなどの意見が多かったものの、業務の見直しや⑧で挙げたVPN環境の改善などの成果もあり、社員も積極的にテレワークを実施するようになってきています。

以上の施策をこの1年の間に実施し、現在も継続して取り組んでいます。

取り組んでみてわかったことは、便利なツールは数多くあるものの、導入しても全員が活用しなければ逆に非効率になってしまうことがあるということです。

例えばチャットツールの導入により、積極的に活用している社員の間では社内での情報収集やコミュニケーションの効率が格段に上がっている一方で、チャットツールの利用に消極的な社員を含めたコミュニケーションになると情報交換にはまだまだ課題があり、非効率なケースも発生します。しかし新しいツールへのアレルギー反応は当然のことであり、これらは時間の経過とともに、社内での理解が進むことによって、解決していくものであると感じています。

もちろん、積極的に利用している社員にとっても、使い慣れるまでの間は多少生産性が落ちることはありますが、それは何事においても同様であり、そのことを以て新しいツールを導入しないというのは技術の進歩を否定することと同じだと思います。

このような状況は、今から約30年前に、職場にパソコンが普及し始めたころと似ているかもしれません。

当時は各職場でパソコンの研修を行ったり、街のパソコン教室に通わせたりして、「マウスとは何か」「インストールとは」といった用語の説明から行う必要がありました。現代の若い方にとっては信じられないことかもしれませんが、それほど目新しいものだったのです。

しかしながら、この30年の間に、当時はパソコン教室に通って「意味がわからない」と言っていた方たちも

当たり前のようにパソコンを使って仕事ができるようになってきました。

現在の状況はそれと同じで、最初は馴染めないかもしれませんが、徐々に慣れていくものだと思います。

とはいえ、この30年間と現在の状況では大きく異なる部分もあります。

それは「変化のスピード」です。

この30年間、パソコンの仕様はそれほど大きくは変わってきませんでした。コマンド入力による操作から、マウスが登場して入力インターフェイスが変わったのが40年ほど前で、それ以降は、操作方法に関してはほとんど変わっていません。OSやアプリのアップデートによる変化は些細な変化と言ってよいでしょう。

それと比較すると、現在は日々様々なサービスが生み出され、一度公開されたサービスは利用者からのフィードバックを得て日々改善され、ある日急に前日までとは全く異なるインターフェイスに変わっていることも珍しくありません。

これらはクラウド技術によって実現されたものですが、利用者個々の端末にアップデートを個別にインストールしなくても、クラウド上のアプリ本体をアップデートすれば、利用者の端末側ではクラウド上の本体と同期をとり、瞬時に最新の状態になります。そうすると、使い慣れたと思ったらまた操作方法や設定が変わってしまいます。

このような状況下では、従来のようにほぼ固定された使い方に時間をかけて慣れるというのでは間に合わず、慣れること自体のスピードを上げなくては追い付きません。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、奇しくも前述の施策の導入が急速に進みましたが、結局のところはデジタルツールの導入やデジタル化という手段以上に、それらを使う「人」の革新が必要なのだと思います。

これまではパソコンの使い方がわからなければIT部門の社員に聞けば済んでいたかもしれませんが、これからは自らが主体的に情報を収集し、変化を見逃さずについていくという意識を持たなければ、早々に時代に取り残されてしまいます。

当社でも今後は社員のデジタル意識改革に取り組み、本当の意味でのDXを進めていきたいと思っています。



当社のDX推進マーク

## 都心の河川測量を3次元計測に変えて(3D デジタル化の試み)

株式会社名邦テクノ  
嶺山 千明

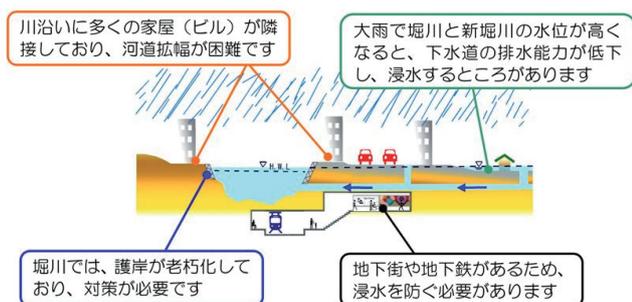
### 1. はじめに

近年、局地的集中豪雨が増加傾向にあり、それに伴う水災害も深刻な問題となっています。都心河川の治水対策も急務とされています。特に都心の川沿いには、多くの家屋（ビル）が隣接し河道拡幅が困難な状況であり、大雨で水位が高くなると、下水道の排水能力が低下し（図1）、内水氾濫につながる場合があります。

また、地下街や地下鉄への浸水が懸念され、護岸の老朽化対策が必要とされています。

自然環境の側面では、ヘドロの堆積による悪臭や川底の黒ずみ、水際に植物が少なく、生物が住みにくい環境が顕在化しています。

都心の河川として安全と環境を確保し、市民の憩いの場、にぎわいの場、自然とのふれあいの場など、市民からの高い期待に応え、さらに沿川利用が促進される河川整備が必要とされています。本稿では、従来の測定方法に変えて、ICT 浚渫工事に向けた3次元現況測量「マルチビーム計測」について紹介します。



（図1）河川の現状と課題(名古屋市ホームページ)

### 2. 都心河川におけるマルチビーム計測の問題点

マルチビーム計測では、GNSS 測位により位置情報を取得するため、衛星を良い状態で捕捉することが重要となります。都心における GNSS 測位を阻害する要因を整理します。

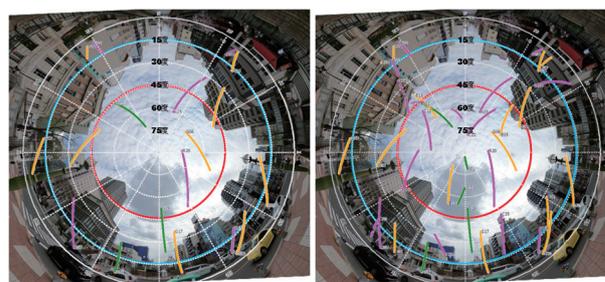
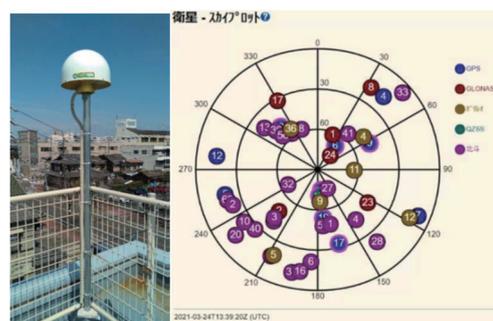
- ① 都心の河川では、掘割断面で水面から護岸が高く、周辺には高い建物が多く捕捉できる衛星数が低減
- ② 幅員の広い道路橋により GNSS 衛星の遮蔽区間が長くなり、位置精度が低下（図2）



（図2）幅員が広い道路と河川の交差点

### 3. マルチ GNSS 測位の活用

GNSS 衛星の捕捉数を確保するため、マルチ GNSS 測位を活用しました。マルチ GNSS 測位の活用により、上空視界が狭い環境でありながら、10 衛星以上（図3）を捕捉することができました。



（図3）マルチ GNSS による衛星捕捉状況

マルチGNSS測位の効果を活かすため、マルチGNSSに対応した基準局を設置し、基準局データをRG-NETにより配信することで、基線長が長距離でありながら、RTK-GNSSによるマルチビーム計測を実施しました。

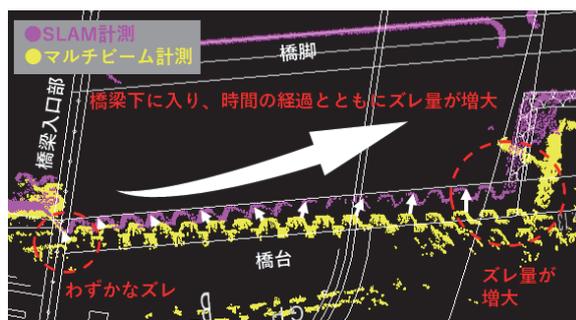
#### 4. SLAM を活用した位置情報の補正

マルチビーム計測では、GNSS衛星が遮蔽される橋梁下や工事建屋下では、IMUによる慣性航法により位置情報を取得しました。GNSS衛星が捕捉できない時間が長くなると、位置情報は累積誤差の影響により位置精度が低下します。そこで、遮蔽箇所をSLAM計測し正確な3次元データ(図4)を取得し、マルチビーム計測で取得した3次元データの位置ズレを補正しました。



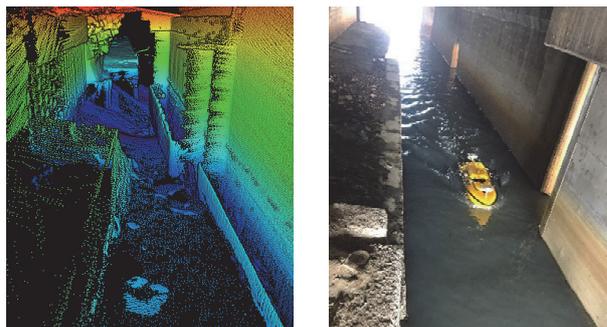
(図4) SLAMによる橋梁下計測

マルチビーム計測で取得された3次元データは、橋梁下の通過と同時に位置ズレがはじまり、時間の経過とともにズレ量が増大します。この位置ズレの要因として、橋台と橋脚の狭い空間(図5)でマルチビームソナーを搭載した無人小型ボートの移動速度が遅いため長時間、衛星が捕捉できない環境が続いたことで、時間累積誤差の影響を受けたものと推察されます。



(図5) マルチビーム測量とSLAM計測のズレ

マルチビーム計測のズレ量の補正は、SLAM計測値を基準値とし、各地点におけるズレ量(XY成分)を計測時間に応じて補完補正(図6)しました。



(図6) 補正後の3次元データと橋梁下計測状況

#### 5. おわりに

従来は河川測量を多数の技術者の力量をもって測定し、時間と日数をかけていましたが、3次元現況測量をすることで短時間に数多くの地理情報を測定することができます。しかしながら、都心の河川における3次元現況測量では、1つの計測手法では精度の確保が困難であっても、複数の計測手法を併用することで、精度を確保し、課題を解決することができます。今後、激甚化していく災害に対応していくため、また、環境に配慮した作業を行うため、顧客や社会のニーズに合わせた3次元計測データの役割は大きいと考えます。



計測に使用した小型無人ボート搭載型  
マルチビーム計測器

# 公益事業への取り組み

## 平板測量競技会への支援

測量委員会

副委員長 吉本 三広

### 1. はじめに

「令和3年度 愛知県学校農業クラブ連盟平板測量競技会」が、6月9日に愛知県立稲沢高等学校で開催されました。日ごろ学習した測量技術を競い合う大会で、毎年実施されています。愛知県下連盟所属高校6校にて競い合いました。なお、最優秀校は10月開催予定の第72回日本学校農業クラブ全国大会令和3年度兵庫大会へ出場する予定です。

当協会は、競技審査を担当しました。梅雨時期にも関わらず晴天にも恵まれ、大きなトラブルもなく無事終了することができました。

### 2. 競技会の概要

日ごろの教科学習や実習で習得した測量技術の実力を発揮し、さらに測量技術能力を高めることを目的に開催されました。

#### 2.1 開催場所、日時

場所：愛知県立稲沢高等学校 グランドにて

日時：令和3年6月9日（水）晴

午前9時50分から午後3時30分まで

#### 2.2 競技内容

第一次作業：平板測器による境界線測量

第二次作業：面積測定のための距離測定作業

第三次作業：図面補正、図面仕上げならびに三斜法、三辺法による面積計算

### 2.3 審査

測量状況について、動作、精度等をチェックシートにより審査を行いました。

### 2.4 競技結果

安城農林高校、猿投農林高校、鶴城丘高校、稲沢高校、田口高校、渥美農業高校の6校による競技の結果、最優秀校1校および優秀校2校が選ばれました。

最優秀校・・・猿投農林高等学校

優秀校・・・安城農林高等学校、鶴城丘高等学校

農業クラブ連盟とは、昭和23年（1948年）に学校農業クラブとして、戦後の新制高等学校の学習活動の中で、農業高校生の自主的・自発的な組織として日本全国で誕生しました。昭和25年（1950年）全国組織を作る動きが強まり、全ての都道府県に農業クラブが誕生し、11月2日に東京の日比谷公会堂において「科学性」「社会性」「指導性」の育成を目標に、日本全国の農業クラブの全国組織として、日本学校農業クラブ連盟（FFJ；Future Farmers of Japan）が結成されました。

### 3. おわりに

参加した高校生達の競技への澁滞とした取り組み姿勢に、私達も初心を思い出し、共鳴しました。

最後に協会会員8社10名の皆さまの惜しみないご協力に紙上をお借りし深く感謝申し上げます。



開会式にて稲沢高校校長先生挨拶



青い空、、、視る、測る

## 地図教室と測量体験学習

測量委員会  
副委員長 吉本 三広

### 1. はじめに

「6月3日測量の日」の関連事業として、測量・地図の意義や重要性に対する国民の理解と関心を高めることを目的に、国土交通省国土地理院中部地方測量部と当協会が協働して、測量と地図に関する情報と知識を普及、啓発する運動を続けています。その一環として、小学生を対象に「地図教室と測量体験」を実施しました。

令和3年度は、江南市立布袋北小学校（6月18日）、蒲郡市立中央小学校（7月2日）で実施しました。ここでは、江南市立布袋北小学校で開催した様子を紹介いたします。

### 2. 開催日時、場所

令和3年6月18日（金）9時45分～11時40分  
江南市立布袋北小学校 江南市今市場町秋津220

### 3. 開催内容

4年生2クラス69名を対象に、国土地理院職員による講話と協会会員による測量体験学習を行い、地図や測量について理解を深めてもらいました。

### 4. 測量体験学習

協会会員で担当しました「測量体験」では「自分の一步を知ろう、歩いて距離を測ろう、測量機器を使って正確な距離を測ろう」を、児童の皆さんに体験してもらいました。

10mの距離を歩数歩測し、歩幅計算しました。その後、代表児童がソフトボールを投げ、飛んだ距離を全員が歩測で測りました。次に測量機器を操作し、距離の測定を体験してもらいました。



江南市立布袋北小玄関

### 5. 地図教室

地理院職員による地理院の紹介に続き、地図が出来までの仕組みや基準点、地図記号などを解り易く説明しました。特に地図記号クイズでは、未知の記号に興味を引き、元気よく回答する場面も多くありました。

### 6. おわりに

地理院職員による解り易い講話と、協会会員の熱心な指導のもと測量体験を通し、児童の皆さんや学校の先生たちにも喜んで頂きました。特に、レンズを通して見る対象物の大きさに驚いていました。

最後に、当事業にご協力をいただきました協会会員5社8名の皆様、関係者の皆様に、紙上をお借りし深く感謝申し上げます。



地図について学ぼう



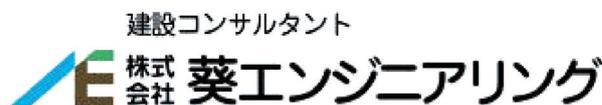
測量機器に触れてみよう

## 新社長紹介



株式会社 葵エンジニアリング  
代表取締役  
つのだ やすし  
角田 安史

弊社は、昭和46年8月に「土と緑と水にかかわる創造」を志し農業土木のコンサルタントとして発足し、本年50周年の節目を迎えることができました。歴代社長においては、創業当初から厳しい時代を経てこの50年を築き上げていただきました。自分は、安定した経営状況の中で会社人生を過ごしてまいりました。だから出来ないのではなく、だからこそ出来る、新生「葵」として、次のステップ（第二ステージ）への成長を目指していく所存です。



弊社では、急速な技術革新に対応した幅広い知識を習得し、優れたアイデアを発する技術者集団として、設計はもちろんのこと一歩先を見据えた地域への提案ができるコンサルタントを目指しています。

そのために「私たちになにが求められているのか。私たちになにができるのか。」を社員一人ひとりが常に考え、行動し、顧客及びエンドユーザーの皆様のご要望に丁寧にお応えできるよう、日々精進してまいります。



株式会社 石田技術コンサルタンツ  
代表取締役社長  
よしもと みつひろ  
吉本 三広

2021年4月に代表取締役社長に就任いたしました、よろしくお願いたします。

わたしたち石田技術コンサルタンツは、1965年の創業以来測量業を起点とし、測量調査や土木設計、補償業務等の公共公益事業の一翼を担い、先輩諸氏の築いた礎のもと実績を積み重ねてきました。今後もこうした実績を基礎とし、「働きやすい働き甲斐のある職場」、「地域住民や顧客のニーズと信頼に応える組織」そして「豊かな社会環境の創造に貢献する会社」を目指し、確かな技術と品質で応える技術者集団として取り組んでいく所存です。



安全・安心な地域づくりをめざして

特に働きやすい働き甲斐のある職場を目指し、社員が充実した社会生活を実感できるよう尽力したいと思います。良き仲間が集い、良い仕事ができる、そして良き仲間の輪が広がっていくものと思います。

そうした目標を目指すうえで、技術継承、人材育成、リスク管理、業界好感度の向上、東海トラフ地震はじめ災害防除への備えなど内外に多くの課題を抱えています。こうした課題解決に向け、今後も皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



中部地域整備 株式会社

代表取締役  
よこやま たつお  
横山 辰夫

**CRD** 中部地域整備株式会社  
Chubu Regional Development

令和3年7月から代表取締役に就任いたしました。よろしくお願いたします。

弊社は、昭和62年に建設コンサルタントとして設立され、今年で34年となりました。

これまで、主に名古屋市及びその周辺の土地区画整理組合の事務を受託してきており、10組合が完了し、3組合が施行中となっております。

名古屋は、区画整理の街といわれるわけですが、近年では区画整理の事業自体が収束系事業

として組合数も大幅に減少してきております。しかし、敷地整序型区画整理や物流施設と連携した区画整理などまだその手法としての有用性は大きなものがあると考えております。

「土地区画整理は測量で始まり測量で終わる」という有名な格言がありますが、基本たる測量を大事にして、地域の皆様に信頼をいただけるようなコンサルタントとして今後も精進してまいります。



中部復建 株式会社

代表取締役  
たなか しんじ  
田中 信治



建設コンサルタント

**中部復建株式会社**

～地域に根づく歴史と文化を大切に

社会資本を「カタチ」にします～

当社の前身は社団法人復興建設技術協会中部支部であり（昭和21年に発足）、各方面の建設コンサルタント事業に参画し、顕著な実績を残して参りました。

昭和35年に各支部がそれぞれ独立し、当社も株式会社中部復建事務所として発足いたしました。昭和54年、事業の発展に伴い新社屋を現地に建設し、社名も中部復建株式会社と改称いたしました。

会社創立後も官公庁民間諸団体から変わらぬご支援とご愛顧を賜り、ここ数年は国土交通省より業務表彰をいただいております。

5年前には全国の復建（東北～九州までの6社）が70周年を、東京に集い祝ったものです。あれから5年が経過し、今年75周年です。

地域に根づいたコンサルタントとして活躍できるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。

## 新入社員紹介



氏名  
伊藤 悠真 (いとう ゆうま)  
勤務先  
(株)愛河調査設計  
入社年月日  
2021年4月1日

### 【尊敬する人】

母親

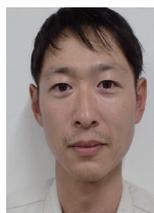
### 【入社して感じたこと】

配属先に同僚がおらず不安でしたが、仕事の内容を丁寧に教えてくださる先輩方、社長まで気さくに話せる環境のおかげで働きやすいと感じています。

### 【将来の目標・夢】

仕事の内容が新しいことが多く、まだまだ覚えきれていないことやミスをしてしまうことがあり、先輩方に指示をもらって動いている状況です。そのため知識も経験も増やして、自分から動けるようにしていきたいです。後には先輩方のように指示を出す側として働いていきたいと考えています。

またこれから先 ICT がさらに必要とされていくことになるので、最先端の技術を使える測量士を目指していきたいです。



氏名  
山川 皓平 (やまかわ こうへい)  
勤務先  
(株)葵設計事務所  
入社年月日  
2020年10月21日

### 【尊敬する人】

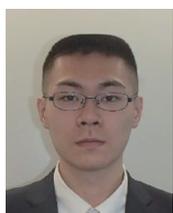
中学校の先生 (理科担当)

### 【入社して感じたこと】

新人にもいろいろとチャレンジさせてもらえる環境だと感じています。ミスをするのは怖いと感じますが、それでも前向きに、逃げずに仕事をしていきたいと思っています。

### 【将来の目標・夢】

測量という技術を通じて相手方のことを考えることができる技術者になりたいと思っています。会社の同僚への思いやり、発注者の意に沿うことはもちろん、作業地域の方々への配慮も大切に、後続の作業をスムーズに終わることができるような仕事を目指して頑張りたいと思っています。



氏名  
藤林 和芳 (ふじばやし かずよし)  
勤務先  
アローコンサルタント(株)  
入社年月日  
2019年4月1日

### 【尊敬する人】

両親

### 【入社して感じたこと】

学生の頃は土木とは別分野の学部だったため、不安だらけの入社でした。しかし、仕事について上司から丁寧に指導をいただき不安を払拭することができました。入社から3年目を迎え、後輩も増えて年々活気ある職場になっています。ますます会社が発展できるよう、努力していきたいと思っています。

### 【将来の目標・夢】

業務を通じて日々技術を身に付け、会社そして地域に貢献していきたいです。また、建設コンサルタントの業務は技術のみでなく、コミュニケーション能力も重要であることも感じています。円滑なコミュニケーションを通し、発注者のニーズに応じた仕事のできる技術者を目指していきたいです。



氏名  
定益 光平 (じょうます こうへい)  
勤務先  
(株)石田技術コンサルタンツ  
入社年月日  
2019年8月1日

### 【尊敬する人】

先人の技術者

### 【入社して感じたこと】

異業種から転職したため、同年代の技術者と比べて、知識や経験が足りないと感じています。

また、仕事を通して得たものや資格取得のために勉強した知識が増えてくるにつれて、普段生活している街並みや道路が、今までと違う視点で見えてくることに、自分自身の成長を感じています。

### 【将来の目標・夢】

まだ仕事に慣れないことの方が多く、日々の業務でできることを増やすことが今後の目標です。そのため会社の先輩方や先人の技術者が残した技術を身に付けるとともに、必要な資格を取得して、一つずつ業務を進めていけるようになりたいと思っています。



氏名  
松澤 拓海 (まつざわ たくみ)  
勤務先  
NTC コンサルタンツ(株)  
入社年月日  
2021年4月1日

**【尊敬する人】**

大学の恩師

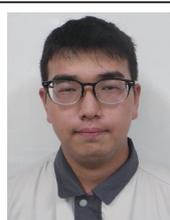
**【入社して感じたこと】**

大学でも農業土木を専攻していましたが、技術を実地へ適用する際には得意分野だけに注力するのではなく、より幅広い知識が必要になると感じました。現在、業務に深く関わるには経験・知識ともに圧倒的に不足しているため、日々の業務を通し、それらを少しずつ積み重ねて行きたいです。

**【将来の目標・夢】**

まずは社内で戦力として必要とされる人間にならねばならないと考えています。そのために、上述のように経験・知識を積み重ねる所存です。

また、日本の国としての基盤である「農」の持続が最重要課題であると考えており、微力かもしれませんが社業を通して貢献して行きたいです。



氏名  
鮫島 陸 (さめじま むつ)  
勤務先  
(株)MSS  
入社年月日  
2020年4月1日

**【尊敬する人】**

会社の上司の方々

**【入社して感じたこと】**

私たちの仕事はインフラ設備の基礎となる仕事です。そのためここでミスがあると後続の作業や多くの事業者様に迷惑をかけてしまうため、責任感が大きな仕事だとも言えます。現場での作業も多く覚えることも多いです。とても大変だなと感じることもあります。しかしだからこそ仕事が終わった後の達成感も多くあります。先輩方も忙しい中手を差し伸べていただくこともあります。そのため私はこの仕事に対し、きつくもありますがとてもやりがいのある仕事だと感じました。

**【将来の目標・夢】**

皆様の役に立てるような人材に多くの方々に感謝されるような人間になりたいと思っています。またMSSは令和2年度公共測量品質管理優秀賞を受賞しましたので、連続受賞できるよう技術力を磨いていきたいです。



氏名  
澤井 友哉 (さわい ともや)  
勤務先  
(株)大增コンサルタンツ  
入社年月日  
2021年4月1日

**【尊敬する人】**

両親

**【入社して感じたこと】**

入社して改めて機械の使い方やなぜそれを行うのかなどを教えていただき、学生時代には何も思わなかったことに疑問を抱いたり、新たな発見などがあった。

道を歩いているときなど今までは気づきもしなかったが、鉋などがたくさん埋まっており、この仕事をしていなかったら一生気づかなかったなと思った。

**【将来の目標・夢】**

今はまだ何をやるのか、どのようにやるのかなどわからないことだらけで、上司に言われたことを淡々とやり遂げている状態なので、自分で考えて業務を行ったり、先読み行動などができるようにしたい。しかし、今はまだ学ぶことが大量にあるので任された業務を確実にやり遂げ、技術や作業効率などを学びたいと思っています。



氏名  
間瀬 雄紀 (ませ ゆうき)  
勤務先  
(株)大增コンサルタンツ  
入社年月日  
2021年4月1日

**【尊敬する人】**

両親

**【入社して感じたこと】**

学生から社会人という立場になり、仕事や環境の変化など多くの不安があるなかで、先輩や上司の方々が気にかけて下さり、とても感謝しています。

業務面においても、優しく丁寧に教えて頂き、雰囲気がよく働きやすい会社であると感じています。まだ分からないことが多く大変ですが、日々の努力を怠らず成長していきたいと思っています。

**【将来の目標・夢】**

日々の仕事から技術や知識を吸収し、早く一人前の技術者になりたいと思っています。また、将来的には必要な資格を取得し、会社や社会に貢献したいです。



氏名  
権代 侑哉 (ごんだい ゆうや)  
勤務先  
(株)梶川土木コンサルタント  
入社年月日  
2021年4月1日

**【尊敬する人】**

エンゴロ・カンテ

**【入社して感じたこと】**

社内の雰囲気が良いなと思いこの会社に入社しました。思った通りで、すぐに会社になじむことができ、また、居心地もよく、毎日の業務への取り組みにも熱が入ります。主体的に活動に取り組むこともでき、入社してすぐに、主導で会社のユニフォームのデザインをさせていただきました。自分に合ったこの会社を選んでよかったです。

**【将来の目標・夢】**

将来の夢は、日本の古来の海岸美を取り戻すことです。夢物語で終わらぬように、技術力と語学力を高めていくことが第一の目標です。「SMART」の法則 (Specific、Measurable、Attainable、Relevant、Time Bond) 意識して目標に取り組んでいきたいです。社会人になってから見つけた夢ですが、環境のせいにしてあきらめたくないです。



氏名  
浅野 航生 (あさの こうき)  
勤務先  
協和調査設計(株)  
入社年月日  
2021年4月1日

**【尊敬する人】**

両親、会社の先輩方

**【入社して感じたこと】**

入社当初は、測量や設計などの知識がまだ浅く、自分にできるのか不安があったのですが、先輩方に丁寧にやさしく教えて頂き、自分の不安はなくなり、少しずつ知識や技術がついてきて成長できていると実感できました。

まだ、覚えることがたくさんあり、大変なこともあります。やりがいや楽しさを日々感じています。

**【将来の目標・夢】**

早く知識や技術を身に付け、安心して仕事を任せられる様な人になりたいと思います。そのために、自分に与えられた仕事に責任を持ち、しっかりとこなしていきたいです。また、色々な資格を取得できるように日々努力していきたいです。



氏名  
荒木 柁 (あらき ひさぎ)  
勤務先  
(株)新日  
入社年月日  
2021年4月1日

**【尊敬する人】**

父親

**【入社して感じたこと】**

現場経験がなく、なにもわからなく不安になっている中、先輩はじめ上司が優しく丁寧に教えてくださって不安がなくなり優しい部署だと感じました。

**【将来の目標・夢】**

会社では技術や体力が必要なのでそのような部分を今後鍛えていき、様々な資格に挑戦していきたいと思っています。



氏名  
下谷 圭輝 (しもや よしき)  
勤務先  
(株)拓工  
入社年月日  
2020年4月1日

**【尊敬する人】**

両親

**【入社して感じたこと】**

入社当初は、新たな環境での不安、人間関係が築けるかの心配がありましたが、職場はアットホームな雰囲気であり、とても働きやすい職場で安心しました。また、測量は学生の頃に想像していた以上にハードな現場で、体力を使う仕事だなと感じました。

**【将来の目標・夢】**

測量士として多くの知識や技術を習得し、社会に貢献できる人物になりたいです。まずは、測量士の資格を取得することを目標に、日々の勉強に励んでいきたいと思っています。



氏名  
向井 佑斗 (むかい ゆうと)  
勤務先  
(株)中部テック  
入社年月日  
2021年4月1日

**【尊敬する人】**

両親

**【入社して感じたこと】**

入社当初は、息をするのを忘れるぐらい緊張していましたが、先輩や上司の方々に対して質問しやすい職場環境で、当初よりは、不安や緊張が解けました。また、社会人としてのコミュニケーションには、とても苦労しており電話対応や言葉遣いなどの課題の改善に向けて日々努力しています。

**【将来の目標・夢】**

目先の目標は、自分の力で業務をこなすことです。そのためには、一日たりとも無駄にせず、知識や技術を身につけていきたいと考えています。そして、自分に仕事を任された時には、最善の選択をし、人々に愛されるようなまちづくりをしていきたいと考えています。



氏名  
杉本 拓也 (すぎもと たくや)  
勤務先  
(株)中部テック  
入社年月日  
2019年4月16日

**【尊敬する人】**

会社の上司・先輩方、両親

**【入社して感じたこと】**

入社前は会社に馴染めるか不安でしたが、上司や先輩方のフォローによりその不安もなくなってきました。また、質問に対しても丁寧に指導していただき、働きやすく風通しの良い職場だと感じました。

**【将来の目標・夢】**

入社3年目になりますが、まだまだ学ぶことが多く、知識や経験を積むことにより解決する力を身につけ、それを業務に生かしていきたいです。また、先輩から学んだことや自らの経験を後輩に継承していき、人生を振り返ったとき、測量において学んだ知識や経験、そこでの月日に誇りを持てるように頑張っていきたいです。



氏名  
川上 昂輝 (かわかみ こうき)  
勤務先  
中部復建(株)  
入社年月日  
2021年4月1日

**【尊敬する人】**

両親

家族のために日々頑張ってくれているため。

**【入社して感じたこと】**

学生のころと何もかも違って、分からないことだらけですが少しずつでも理解していけるようにいきたいと思っています。

**【将来の目標・夢】**

一つでも多くの知識を身につけ、一日でも早く一人前の技術者になれるように努力していきたいです。

近い将来としては、ドローン(グリーンレーザースキャナ)等の新しい知識を身につけ、河川測量等をやりたいです。



氏名  
真田 拓磨 (さなだ たくま)  
勤務先  
(株)名邦テクノ  
入社年月日  
2021年4月1日

**【尊敬する人】**

両親、祖父母

**【入社して感じたこと】**

私は測量の専門学校を卒業し、入社しました。2年間学校に通っていたのですぐに会社の力になれると思っていましたが、まだまだ力不足であることを実感しました。

上司の方々や先輩方に指導をして頂き一步一步成長していきたいと思っています。

**【将来の目標・夢】**

基本的なことを学び、自分ができることを増やして社会に貢献できる人材になりたいです。そのために新しい技術を習得して活用していきたいです。

また、対人スキルを向上させ、発注者の方との打ち合わせや立会をしっかりとこなせるようになりたいです。

# 「新技術への取り組みと将来への夢」

—若手・中堅技術者からの投稿



氏名  
大脇 旭隼(おおわき あきとし)  
勤務先  
NTC コンサルタンツ(株)  
中部支社 技術部

私が今後特に伸ばしていきたいと考えている分野  
—施工計画について紹介します。

私自身、平成30年に中部支社に配属となって以降、継続して施工計画の業務に携わってきました。その上でこの分野に着目しているのは、完成時の達成感の大きさです。施工計画は、排水計画や進入道路計画等の仮設計画から、具体的な構造物の施工の方法、工程計画まで検討すべき要素が数多くあり、それぞれの検討項目は相互に結びついています。例えば、施工機械を選定するにあたり、工事車両の進入路計画や仮設ヤード計画が関係します。また、これらの仮設計画について関係者の意向を確認する必要がありますが、適応する機械によっては構造物の設計に遡って再検討が必要となる場合もあります。この大変さ故に、一連の施工計画ができた時は複雑なパズルを完成したようで、達成感は大きいものがあります。

また、社内・社外を問わず打合せの際は、参加者の経験等に基づいた様々な意見が出てきます。その中で自分の検討案について、積極的なコミュニケーションや十分な裏付けとなる多くの検討作業を行った結果、私の考えが採用に至ったときは、「自分の意見」が認められた感覚がとても強いものになります。

時間の掛かる作業だけに、やり方次第では最も時短の余地がある作業とも考えています。昨今は働き方改革のために会社としても様々な取り組みがありますが、私は今後も取り組むこの分野から、改革の足掛かりを作ろうと考えています。



氏名  
上間 伴則(うえま とものり)  
勤務先  
株MSS  
技術部工務課

測量専門学校を卒業し、MSSに入社し早13年の年月が過ぎました。今は工務課長として主に工事測量を行う事が多いですが、1級水準測量や、GNSS、3Dレーザースキャナなど、様々な業務を行っていく中で経験を積み、多くの技術・知識を身に付けることができ、MSSは令和2年度公共測量品質管理優秀賞を受賞する事ができました。

24時間365日お客様は勿論ですが、皆様の暮らしを良くする為、業務に励んできました。

近年はi-Constructionの普及により、地上型レーザースキャナやMMS、UAV等による3次元計測データを活用した測量技術や成果を活用した施工管理が普及しています。重機にも専用の機械を搭載し丁張無しで法面の整形等を行なっています。私が入社した時は自動で対回観測ができ、そこから数年後にはリモートで観測・位置出しを行なえるようになりました。そういった最新技術を活用した測量はとても興味深く、安全かつ効率的で高精度な測量を実現し、土木業界・測量業界のイメージを良くして魅力ある業種にしていく事は、昨今若手の技術者が不足しているこの業界において我々の使命だと思っています。

私は測量という職業は大変ではありますが、とても面白く誇りを持っています。なぜなら、測量は社会基盤であるインフラ事業の中での基盤であると考えているからです。測量を行い、設計をし、施工して物が出来上がる。自分が測量をした場所に、新しい道路や橋が出来のを見るたびに何とも言えない達成感や幸福感に包まれます。その考えから、私は自分の測量が多くの人々の生活を豊かにしているという自負を持って作業をしています。

これからは、この素晴らしい職業である測量を多くの人々に知ってもらい、より多くの技術者を育てていきたいと思っています。その為には、より一層勉強し技術・知識を身に付け、3DレーザースキャナやMMS、UAVなどの最新技術をうまく活用し、効率的かつ高精度な測量を行う事。そして、その技術・知識をより若い世代に引き継いでいく事が大切だと考えます。



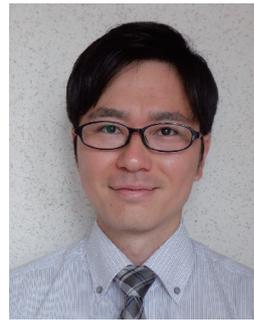
氏名  
藤本 真次 (ふじもと しんじ)  
勤務先  
(株)カナエジオマチックス  
建設コンサルタント事業部

私は、現在建設コンサルタント事業部の調査グループに所属し、主に橋梁などのインフラ施設の維持管理業務に携わっています。

社会インフラの多くは高度成長期に集中的に整備され、今後急速に老朽化することが懸念されています。今後20年間で、建設後50年以上経過する施設の割合は加速度的に高くなる見込みです。橋梁については5年に1度、近接目視による定期点検が法律で義務付けられ、現在2巡目の点検が行われています。維持管理や更新に係るLCCの縮減や平準化を図るため、予防保全の考え方に基づく計画的な対策の実施が重要となっています。1巡目点検で早期措置段階(判定区分Ⅲ)又は緊急措置段階(判定区分Ⅳ)と診断された橋梁は、次回点検までに措置を講ずるべきとしていますが、地方では特に予算不足や技術者不足により修繕等の措置の着手が遅れています。予防保全段階(判定区分Ⅱ)の補修の前に事後保全(判定区分Ⅲ・Ⅳ)の橋梁の措置に着手できていないのが現状です。さらに1巡目点検で予防保全段階(判定区分Ⅱ)と診断された橋梁について、未着手のまま放置すると判定区分Ⅱから事後保全(判定区分Ⅲ・Ⅳ)へ遷移する橋梁の割合が高くなり、ますます予防保全の実施が難しくなります。

当社がこれまで橋梁点検に携わった中でも、既に判定区分Ⅲの橋の補修を終え、判定区分Ⅱの予防保全に着手している地方自治体もある一方、判定区分Ⅲの事後保全の対応で手一杯の地方自治体も多く見受けられます。現在、地方自治体のこうした課題に対しては、新技術の活用等により効率的・効果的なインフラの維持管理手法が求められています。

建設コンサルタント技術者として、インフラメンテナンスの効率化・高度化を図る目的から、ICTを活用した新技術を積極的に取り入れ、財政難や技術者の人材資源の不足により予防保全管理が進んでいない地方自治体への技術支援を継続して、維持管理に関する知識・技術力向上および点検技術者の裾野拡大に取り組みたいと思います。



氏名  
加藤 慎也 (かとう しんや)  
勤務先  
信栄測量設計(株)  
技術部

私はこの業界で働かせていただくようになって12年が経過しました。業務を通して社会のインフラ整備を行い、微力ながらも人の役に立てることをうれしく思っております。

皆様も、業務を行っていくうえで自分が大切にしている事や、考えというものがあるのではないのでしょうか？私が個人的に大切に、ずっと目標にしている事は「よいコミュニケーションをとり、相手を知るようにすること」です。

当初この業界は、人との関わり合いが少ないイメージを持っていましたが、年数を重ね様々な方と接する機会も増えました。そんな中で、人の考え方や感じ方、物事の行い方は相手によって大きく異なるという事を実感するようになりました。互いの立場や年齢も様々です。そのような中で、互いが協力し良い成果を作り上げるには、よいコミュニケーションをとり、相手の人間性や考え方をよく知るとともに、私の事も知っていただくことが大切だと学びました。

それで私は、様々なタイプの人に対して、自分も様々なタイプの人になれる柔軟な人でありたいと思います。それは、自分を持たないという事ではありませんが、それでも相手を尊重し、人の意見を大切にしたいと思います。自分が指示を受ける立場でも、指示する立場の時も、相手にとって受け入れやすい柔軟な人になる、それが業務を楽しく行っていくうえで助けになったと思っています。

近年の土木業界の技術発展は目覚ましく、多くの成長と変化が見られる時代ですが、自分の業務上の技術をアップデートすると共に、人間性も成長していきたいと思っています。



氏名  
山田 吉胤 (やまだ よしたね)  
勤務先  
(株)新日  
調査測量部

私は、株式会社 新日に入社して5年目の社員です。測量という仕事に入社以来携わっていますが、昨年初めてCM業務(コンストラクション・マネジメント)を外向という形で経験させて頂きました。

CM業務とは、発注者から委任を受けたコンストラクション・マネジャー (CMR) が、発注者と受注者との中間的立場に立ち、全体を調整して、事業の目的に向かって円滑に業務を進める役割を担う仕事です。

勤務先は福島県内で、河川事業の業務でした。

担当地域は、令和元年の台風19号の被災を含め、阿武隈川の氾濫・洪水被害に再三、見舞われていました。

今回、用地・物件補償の担当をし、慢性化している浸水被害の早期解消を図るため業務を進めたかったのですが、コロナの影響もあり、職員や業者の打合せ・協議、また地権者への訪問も極力避け、可能な限りメールや電話等でやり取りするなど、コロナに感染するリスクを少しでも減らす事を考慮し、尚且つ期限にも支障が出ないように工程調整に苦戦を強いられました。

今では用地・物件補償は、全体の約八割が契約を完了し、堤防の改修工事が始まろうとしています。堤防の改修工事完了まで在籍できないのは非常に残念ですが、そこで出会った職員の方々、他のCM業務の方々、協力業者の方々とのやり取りは、この上ない財産になりました。

今後とも、この経験を活かし一步一步邁進していきたいと思っています。



氏名  
角見 篤紀 (かくみ あつき)  
勤務先  
中央コンサルタンツ(株)  
都市整備部

私は、今年で入社して9年目になります。その間に公園設計や下水道の計画や設計業務などを経験しました。現在は、土地区画整理事業の推進に向け、区画整理設計や事業計画(案)の作成、委員会の開催支援などの業務に従事しています。

入社当初は、日常的に利用される社会資本に対し、利便性を感じることや愛着をもってもらえるかの視点で業務に取り組んでまいりましたが、さまざまな経験を通して、「防災、減災」という視点を強く意識するようになりました。具体的には、地震や津波、集中豪雨などの大規模災害時を想定して、社会資本や住宅などの被害を減少させることや命を守るといった視点です。

現在挑戦をしていることは、大規模災害時に浸水が想定される土地区画整理事業の予定区域に対しての地区計画の検討です。地区計画の検討は、建築物の最低地盤高の設定や建築物の構造制限などさまざまな視点で模索しています。また、地区計画による制限だけでなく、将来的に居住者が防災意識や災害への理解を深めながら住み続けてもらうことを目指しています。そのためには、説明会の場などで「防災・減災」の大切さをしっかり伝えられるよう業務に取り組んでまいります。

土地区画整理事業は、行政の考えや地権者の考え、事業者の考えといった多様な関係者の考えがあるなかで物事を決めていくスケールの大きい事業と考えています。その中で私の将来の夢は、実行力と対話力で関係者の真意を見つけながら、百年先も住み続けられるまちづくりを担う技術者となることです。



氏名  
丹羽 貴志 (にわ たかし)  
勤務先  
中日本建設コンサルタント(株)  
環境技術本部

私は大学卒業後、建築設計事務所に9年間勤め、令和元年に中日本建設コンサルタント(株)に入社しました。社内では主に上下水道施設の建築担当として業務を行っています。

前職の建築設計と異なり、上下水道施設の建築設計は、土木、機械、電気等、複数の専門工種が密接に関与しています。客先との打合せで多くの担当者が集まって協議しており、入社当時は困惑したのを覚えています。プロジェクト業務を円滑に進めていくには、各工種間の課題を把握・共有し、解決することが重要であると感じました。そのために必要な専門的知識を得ることはもちろんですが、幅広い視野を持って業務に取り組む姿勢が大切であると感じています。

プライベートでは、学生の頃からアウトドアが趣味で、家族や友人たちと毎年キャンプに行っています。社内で共通の趣味を持った先輩方や同僚とキャンプや山登りに行くこともあり、会社では話せないような他愛のない話題に話が弾んだり、今ではストレス発散の場として貴重なイベントであり、その結果仕事に集中して取り組むことが出来ていると思います。

中堅社員は、「新人」「若手社員」といった立場から変わり、責任感や考え方など意識変化の時期です。苦労は多くなるかもしれませんが、この時期ならではの变化を、良い経験として培っていきたいと思います。



氏名  
櫻井 圭樹 (さくらい けいじゅ)  
勤務先  
株名邦テクノ  
設計事業部設計課

私は、株式会社名邦テクノに入社する以前、別のコンサルタント会社に勤めておりました。前社で私は、設計技術者として入社しましたが会社が3次元測量に力を入れており、設計技術者も3次元測量に従事することが多くなったため、3次元に関する知識を身に付けることができました。しかし、日々の仕事の中でこの知識を活かした設計をしたいと思うようになり、私の習得した知識を存分に生かせる当社に転職をしました。

現在、私はほ場整備を中心とした設計業務に従事しています。その中で、現況地形図は点群データを利用し、計画平面図は3Dモデリング化して設計を行っています。現況地形を点群データにすることで、2次元図面では読み取ることができなかった地形の詳細な変化を正確に把握することが可能です。また、点群データでは任意の位置で道路縦・横断地形図の作成や、地区境界のすり付け検討に必要な断面等のデータの取得ができるため設計精度向上にもつながります。さらに、造成後の地形を3Dモデリング化することで、関係者への分かり易い説明資料として活用できます。さらに、今まで人力で行っていた土量計算の電算自動化が可能となり大幅な労力削減が図られるだけでなく計算ミス防止にもつながります。

今後、測量もレーザースキャナやドローンを用いた3次元測量をする機会が増え、納品される測量データも点群データのものが多くなります。CIMを進めていくにあたって設計技術者は3次元の知識や技術を身に付ける必要があるため、私も日々精進していきたいです。

## 協会活動報告（令和2年度～令和3年度上半期）

愛測協事務局

【令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）】

### 1. 主な会議開催状況（総会、理事会、委員会）

#### 1) 第47回定時総会

日時 令和2年6月2日

場所 愛測協事務局

議題（全議案承認）

第1号議案 令和元年度事業報告について

第2号議案 令和元年度収支決算承認について

第3号議案 令和2年度事業計画について

第4号議案 令和2年度収支予算について

第5号議案 役員改選について

今村会長を議長に選出し、第1号議案から第5号議案まで審議が行われ、各議案とも原案通り承認された。また、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に規模を縮小し、毎年開催している記念講演会、懇親会は中止とした。

#### 2) 理事会

第1回 令和2年4月28日（書面決議）

- ・令和元年度収支決算について
- ・第47回定時総会について

第2回 令和2年7月3日（ウインクあいち）

- ・定例勉強会について
- ・各委員会の活動状況について

第3回 令和2年9月4日

- ・新型コロナウイルス感染症対策に関するアンケートについて
- ・定例勉強会について

第4回 令和2年12月1日（アイリス愛知）

- ・各委員会活動報告について
- ・備品等取り扱いについて

第5回 令和3年1月22日（書面決議）

- ・新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインについて

第6回 令和3年3月25日（ナカトウ丸の内ビル）

- ・令和3年度の事業計画（案）、収支予算について
- ・次年度の活動について

#### 3) 委員会

##### i) 総務委員会

第1回 令和2年7月10日

- ・定例勉強会について

第2回 令和2年12月23日（一部web）

- ・愛測協規約について

##### ii) 広報委員会

第1回 令和2年7月14日

- ・「方位」について

第2回 令和3年3月26日（web）

- ・「方位」のテーマについて
- ・次年度要望活動について

##### iii) 測量委員会

第1回 令和2年6月26日

- ・各活動詳細について
- ・測量競技会について

##### iv) 建設コンサルタント委員会

第1回 令和2年7月9日

- ・各活動詳細について

第2回 令和2年8月7日

- ・各A・I事業について

第3回 令和3年3月24日（一部web）

- ・次年度委員活動について
- ・委員会スケジュールについて

##### v) 危機管理委員会

第1回 令和2年8月6日（一部web）

- ・委員会スケジュールについて

第2回 令和2年9月25日（web）

- ・中部地区三県の意見交換会について
- ・災害復旧等関連業務研修会について

第3回 令和2年11月11日（web）

- ・オンライン災害復旧等関連業務研修会について
- ・中部地区三県の意見交換会について

第4回 令和3年2月4日（web）

- ・新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインについて
- ・中部地区三県の意見交換会について

- 第5回 令和3年3月15日 (web)  
・中部地区三県の意見交換会について  
・次年度委員会活動について

## 2. 主な事業活動状況

### 1) 監事による会計監査

令和2年4月28日、令和元年度の会計及び業務について、藤本、長谷川両監事により書面にて会計監査が実施された。

### 2) 要望活動の実施

- ①毎年、全会員が25班に分かれ県内の全発注機関に対して行っていた『協会の更なる活用と受注機会の拡大』の要望活動を今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により6月に郵送にて同旨の要望活動を実施した。また、委託業務に係わる前払金制度未導入の市町村に導入を要望した。  
併せて、テクノアイ18号を配布した。
- ②令和2年6月18日、正副会長及び総務委員長が、愛知県建設局長、土木部長、技監、建設企画課長、用地課長へ、久保田、杉浦、佐藤、飛田顧問の同席を得て、『協会の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。
- ③令和2年7月29日、30日に会長と事務局長が県内全建設事務局長を訪問し、同旨の要望活動を実施した。
- ④令和2年9月7日、自由民主党愛知県支部連合会主催の「政策懇談会」に会長、青木副会長(政治連盟会長)が出席し、国に対しては「地方経済発展に寄与する施策の充実・強化に向けた公共事業への投資と地域・地元企業への優遇施策を進めて頂くよう」、県に対しても「地方経済発展に寄与する施策の充実・強化に向けた公共事業への投資と、官民境界の整備及び道路台帳の2次元化と一元管理に対する施策資源を重点的に投入して頂くよう」などを強く要望した。

### 3) 災害緊急時協力体制のPR活動の実施

全建設事務所を各地区の正副幹事会社が訪問し、愛知県知事との災害協力に関する協定に基づく当協会の体制のPR活動について、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、郵送による活動とした。

### 4) 地図教室(測量の日記念行事)の実施

国土地理院中部地方測量部と合同で、小学校児童を

対象に行っている「地図教室」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

### 5) 測量競技会の後援

令和2年7月14日、県立稲沢高校で開催された愛知県学校農業クラブ連盟(県内農業高校測量科7校加盟)主催の測量競技会県大会を後援、協賛した。

当協会は、審査員10名を派遣し、6チームが参加した測量競技審判採点の競技大会をバックアップし、優秀校に対し当協会の会長表彰を行った。

### 6) 測量研修会等に講師を派遣

愛知県建設局等からの依頼に応じて、測量や用地実務等についての研修会に講師を派遣した。

受講者は、県職員及び事務所管内の市町村などの担当職員が中心であった。

○用地事務専門研修会

月 日 令和2年8月19日

場 所 愛知県自治研修所 OA教室

参加者 24名

○測量技術講習会

①第1回講師派遣

月 日 令和2年10月14日

場 所 愛知県一宮建設事務所

参加者 29名

②第2回講師派遣

月 日 令和2年10月27日

場 所 衣浦西部浄化センター

参加者 11名

○豊田市建設技術職員研修

月 日 令和2年10月29日

場 所 千石公園(豊田大橋下)

参加者 10名

### 7) 災害等緊急時における連絡模擬訓練

①令和2年8月26日、名古屋市との災害協定に基づき、(一社)名古屋市測量設計業協会と合同実施の名古屋市緑政土木局主催の情報伝達訓練に参加した。

②令和2年9月4日、愛知県との災害協定に基づき、災害等緊急時における連絡模擬訓練を実施し、県内広域で大規模地震が発生したとの想定のもと、第1報で会員の安否確認の後、会長を本部長とする災害対策本部を設置し、第2報で情報伝達、出動可能な技術者数の把握などの訓練を実施した。

8) シビルエンジニア A・I

建設事務所職員の方々と会員各社のリーダー的技術者との意見交換会を、今年度は「働き方改革の取り組み及び品質確保」をテーマに豊田加茂建設事務所で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期とした。

9) 愛知県建設局との定例勉強会

新型コロナウイルス感染症の影響により10月23日に書面での開催を行い、愛知県建設局から測量設計業者への要望等について、協会側からは協会の受注機会の拡大要望はじめ、新型コロナウイルス感染症対策や委託業務遂行上の疑問点・改善点などを書面で回答をいただいた。

- A 新型コロナウイルス感染症対策について
- B 業務関係について
- C 入札関係について
- D その他

10) コンプライアンス講習会（独占禁止法順守講習会）

毎年、独占禁止法等の法令順守の徹底を促すため、（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部、（公社）全国上下水道コンサルタント協会中部支部、（一社）中部地質調査業協会、（一社）日本補償コンサルタント協会中部支部及び当協会の5協会共同で開催していた独占禁止法順守に関する講習会を、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

なお、各団体ホームページに期間限定で「独占禁止法の概要」資料を公開した。

11) アソシエーション A・I

公共事業の円滑な進行と品質の向上を目指し、発注者、設計者、施工者の3者が合同で行う現地研修及び意見交換会を、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

なお、開催予定であった海部建設事務所及び津島土木研究会と次年度、調整することとした。

12) 全員研修会の開催

月 日 令和2年11月20日

場 所 ウィルあいち

参加者 38社60名

テーマ①令和2年度上半期会務について

テーマ②定例勉強会の結果報告について

テーマ③危機管理委員会「新型コロナウイルス緊急アンケート結果」報告について

テーマ④「減災・防災・災害復旧におけるシステム」

講 師 西尾レントオール 小野 晶 様

テーマ⑤「BIM/CIMリクワイヤメントにおける点群データの利活用

～点群の有効的な活用とは?～」

講 師 (株)大塚商会 上田 浩司 様

福井コンピュータ(株) 南曲 和也 様

テーマ⑥「公共工事前払金保証制度について」

講 師 東日本建設業保証(株)

13) オンライン災害復旧等関連業務研修会の開催

月 日 令和2年11月27日

場 所 オンラインセミナー形式

参加者 35社87名

テーマ①協会BCPについて

講 師 危機管理委員会 委員長 小中 達雄

テーマ②災害復旧等関連業務の全体の流れ、留意点について

講 師 危機管理委員会 委員 河 正根

テーマ③災害復旧等関連業務の事例紹介

講 師 危機管理委員会 副委員長 早川 正喜

テーマ④測量に関わるICT機器のご紹介及び UAVレーザー測量の活用事例

講 師 危機管理委員会 副委員長 山本 成竜  
ニチイコンサルタント(株)

3次元技術部 課長 小島 由梨乃

年々増加する気候変動の影響で激甚化・頻発化する大規模自然災害に備え、会員の災害復旧等関連業務への対応力向上並びに技術継承の課題等に対応するべく、毎年発生している災害復旧等関連業務を題材として、測量及び設計の実務担当者を対象に技術研修会を開催した。

14) 「テクノアイ」、「方位」の刊行、配布

令和元年度に行った建設コンサルタンツ委員会のシビルエンジニア A・I（意見交換会）、アソシエーション A・I（現地研修会）、産学官 A・I（講演会）の概要、令和元年度に測量委員会が実施した用地講習会、測量研修会及び危機管理委員会の活動報告を取り纏めた「テクノアイ」18号を刊行（1,200部）し、6月に発注機関等を中心に配布した。

12月には、機関誌「方位」43号を刊行（2,000部）し、国・県・市町村など発注機関へ配布した。

15) 愛知県i-Construction推進協議会へ委員を派遣

愛知県では、県の実情を踏まえた施策としてi-Constructionを推進するためICTや新技術の現場導入などを検討し、建設現場における生産性向上を目的とする「愛知県i-Construction推進協議会」に当協会から理事を委員として派遣し、11月26日協議会議論に参画した。

16) 賀詞交歓会

会員相互の親睦並びに、建設局長始め県建設局幹部の方々や顧問の先生方との交流の場として毎年開催していた賀詞交歓会を、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

17) 営業研修会

営業担当者を対象に、長島温泉ホテル花水木・ガーデンホテルオリーブにて「会員受注及び決算状況」、「独占禁止法の順守について」など、営業研修会を開催予定であったが今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

18) イブニングサロンへの参加

異業種や異世代間がフランクな話し合いにより相互理解を深め、建設分野の魅力発信と若手人材の育成を目的として、平成25年度に愛知県が中心となり設立した「イブニングサロン」に参画した。

令和2年度は、10月20日に愛知総合工科高等学校、11月17日に相山女学園大学（オンライン）の建設系専攻の学生・生徒等を対象として開催され、コンサルタント業務の具体的な内容などについて学生・生徒と行政機関、産業界の若手技術者が活発な意見交換を行った。

当協会からは会員企業社員が参加し、学生や行政・他団体の技術者などとの交流を深めた。

19) 関係団体との連携

令和2年6月2日愛知県土木施工管理技士会総会に出席

【令和3年度（令和3年4月～令和3年8月）】

1. 主な会議開催状況（総会、理事会、委員会）

1) 第48回定時総会

日時 令和3年5月28日

場所 愛測協事務局

議題 （全議案承認）

第1号議案 令和2年度事業報告について

第2号議案 令和2年度収支決算承認について

第3号議案 令和3年度事業計画について

第4号議案 令和3年度収支予算について

今村会長を議長に選出し、第1号議案から第4号議案まで審議が行われ、各議案とも原案通り承認された。

前年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に規模を縮小し、毎年開催している記念講演会、懇親会は中止とした。

2) 理事会

第1回 令和3年4月23日（一部web）

・令和2年度収支決算について

・第48回定時総会について

第2回 令和3年7月20日（一部web）

・定例勉強会について

・各委員会の活動状況について

第3回 令和3年9月1日

・定例勉強会について

・災害模擬訓練について

3) 委員会

i) 総務委員会

第1回 令和3年7月30日

・定例勉強会について

ii) 測量委員会

第1回 令和3年4月27日

・各活動詳細について

・測量競技会・地図教室について

iii) 建設コンサルタンツ委員会

第1回 令和3年5月11日（一部web）

・各活動事業について

第2回 令和3年6月30日（一部web）

・各A・I事業について

iv) 危機管理委員会

第1回 令和3年5月10日（web）

・中部地区三県の意見交換会について

- ・産学官A・IIについて
- 第2回 令和3年6月29日 (web)
- ・災害復旧等関連業務研修会について
  - ・中部地区三県の意見交換会について
- 第3回 令和3年8月6日 (web)
- ・災害復旧等関連業務研修会について
  - ・建コン委員会合同事業について

## 2. 主な事業活動状況

### 1) 監事による会計監査

令和3年4月23日、令和2年度の会計及び業務について、藤本、長谷川両監事により会計監査が実施された。

### 2) 要望活動の実施

- ①毎年、全会員が25班に分かれ県内の全発注機関に対して行っていた『協会の更なる活用と受注機会の拡大』の要望活動を今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により6月に郵送にて同旨の要望活動を実施した。また、委託業務に係わる前払金制度未導入の市町村に導入を要望した。  
併せて、テクノアイ19号を配布した。
- ②令和3年7月1日、会長、両副会長及び総務委員長が、愛知県建設局長、都市・交通局都市基盤部長、土木部長、技監、建設企画課長、用地課長へ、久保田、杉浦、佐藤、飛田顧問の同席を得て、『協会の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。
- ③令和3年7月29日、30日に会長、両副会長及び総務委員長が県内全建設事務所長を訪問し、同旨の要望活動を実施した。
- ④令和3年7月28日、自由民主党愛知県支部連合会主催の「自民党愛知県連との懇談会」に会長、青木副会長(政治連盟会長)が出席し、国に対しては「地域・地元企業への優遇施策を進めて頂くよう」、また県・名古屋市に対しては「業界内(大手・中小企業間)の連携強化を図り、地域の中小企業、地域に精通する企業の有効的な活用による円滑かつ効率的な道路台帳デジタル化施策の推進」などを強く要望した。

### 3) 地図教室(測量の日記念行事)の実施

国土地理院中部地方測量部と合同により、地図教室として小学校4年生児童対象に測量の体験学習を行った。

中部地方測量部は、出前授業で「地図が出来るまで」を講演、その後、協会会員による「測量体験学習」を実施し、令和3年6月18日に布袋北小学校(江南市)、7月2日に中央小学校(蒲郡市)で開催した。

### 4) 災害緊急時協力体制のPR活動の実施

全建設事務所を各地区の正副幹事会社社が訪問し、愛知県知事との災害協力に関する協定に基づく当協会の体制のPR活動について、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、郵送による活動とした。

### 5) 測量競技会の後援

令和3年6月9日、県立稲沢高校で開催された愛知県学校農業クラブ連盟(県内農業高校測量科7校加盟)主催の測量競技会県大会を後援、協賛した。

当協会は、審査員10名を派遣し、6チームが参加した測量競技審判採点の競技大会をバックアップし、優秀校に対し当協会の会長表彰を行った。

### 6) 災害等緊急時における連絡模擬訓練

- ①令和3年8月25日、名古屋市との災害協定に基づき、(一社)名古屋市測量設計業協会と合同実施の名古屋市緑政土木局主催の情報伝達訓練に参加した。
- ②令和3年9月1日、愛知県との災害協定に基づき、災害等緊急時における連絡模擬訓練を実施し、県内広域で大規模地震が発生したとの想定のもと、第1報で会員の安否確認の後、会長を本部長とする災害対策本部を設置し、第2報で情報伝達、出動可能な技術者数の把握などの訓練を実施した。

## 総務委員会報告

委員長 久松 顕

副委員長 森 康彰

総務委員会は、主に会員皆様の資質向上と受注の増大を目的とした活動を担当しています。

### 1. 愛知県建設部との定例勉強会

新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は10月23日に書面での開催を行い、愛知県建設局から測量設計業者への要望等について、協会側からは協会員の受注機会の拡大要望はじめ、新型コロナウイルス感染症対策や委託業務遂行上の疑問点・改善点などを書面で回答をいただいた。

- A 新型コロナウイルス感染症対策について
- B 業務関係について
- C 入札関係について
- D その他

### 2. コンプライアンス講習会（5団体共催）

毎年、独占禁止法等の法令順守の徹底を促すため、（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部、（公社）全国上下水道コンサルタント協会中部支部、（一社）中部地質調査業協会、（一社）日本補償コンサルタント協会中部支部及び当協会の5協会共同で開催していた独占禁止法順守に関する講習会を、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、各団体ホームページにて令和2年度3月末までの期間限定で「独占禁止法の概要」の資料を公開した。

### 3. 全員研修会の開催

- 月 日 令和2年11月20日
- 場 所 ウィルあいち
- 参加者 38社60名
- テーマ① 令和2年度上半期会務について
- テーマ② 定例勉強会報告
- テーマ③ 危機管理委員会新型コロナウイルス緊急アンケート結果報告
- テーマ④ 「減災・防災・災害復旧におけるシステム」
- 講 師 西尾レントオール 小野 晶 様
- テーマ⑤ 「BIM/CIMリクワイヤメントにおける点群データの利活用  
～点群の有効的な活用とは？～」

講 師 (株)大塚商会 上田 浩司 様  
福井コンピュータ(株) 南曲 和也 様  
テーマ⑥ 「公共工事前払金保証制度について」  
講 師 東日本建設業保証(株)  
全員研修会は、CPD認定を受けたプログラムとして開催をした。

### 4. 賀詞交歓会

会員相互の親睦並びに、建設局長始め県建設局幹部の方々や顧問の先生方との交流の場として毎年開催していた賀詞交歓会を、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

### 5. 営業研修会

営業担当者を対象に長島温泉ホテル花水木・ガーデンホテルオリーブにて「会員受注及び決算状況」、「独占禁止法について」など、営業研修会を開催予定であったが令和元年度に引き続き、令和2年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

### 6. 受注状況調査の収集・分析

会員の経営体質の強化を図るため受注状況の収集・分析及び、平素から国土交通省や愛知県の入札制度など必要な情報の収集に努め、会員へ機会ある毎に情報の提供を行った。

### おわりに

協会に対するご意見、ご希望等ございましたら、事務局までご連絡頂きたく存じます。皆様の暖かいご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

## 広報委員会報告

委員長 永草 新吾  
副委員長 西出 剛大  
副委員長 服部 真澄

広報委員会は、広く県民の皆様には測量設計業に対する認識を深めていただくための広報活動や、ホームページを通して業界の認知度向上、イメージアップを図ってまいります。会員向けには測量設計業に関するニュース、話題、協会の行事結果等を適時発信してまいります。

広報委員会での活動は、大きく三つ（要望活動・機関誌「方位」・ホームページ）あり、これらの実績についてご報告いたします。

### 1. 要望活動

当協会のさらなる活用と受注機会の拡大を図るため、毎年5～6月に全会員が参加して国、県、市町村の各発注機関に対して要望活動を実施しております。

今年度も全会員を25班に編成し一斉に各発注機関を訪問し要望活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年度同様郵送での配布といたしました。また、今年度も受注企業の経営安定と資金繰り改善のため、前払金制度の採用についての要望も併せて実施しております。

#### <要望書抜粋>

南海トラフ巨大地震等の発生が危惧されるとともに、大規模な風水害や土砂災害の発生が懸念されています。

このような状況の中、地域の安全・安心を守るといふ私ども測量設計業の使命を将来にわたって果たしていくため、地元企業が元気になり労働環境の改善や人材の育成に取り組む事により、「夢のある産業」として、将来にわたってその担い手を継続的に確保するという好循環を形成しなければなりません。

協会員企業は、甚大な被害を及ぼす南海トラフ巨大地震を想定し、常日頃から測量設計の技術研鑽に努め、災害発生時における協会員企業間の情報共有、災害支援体制を整備できるよう努めております。

地域を熟知する地元企業の更なる活用・育成が緊急時における迅速な支援・活躍、ひいては安全・安心なまちづくりと地域の活性化に重要且つ不可欠であると考えます。

是非、事業量の経常的な増額と確保をお願いすると共に、地元企業を育成するためにも「地元で出来

る事は地元で・・・の認識と強い意志」へご配慮を頂き、「協会員の更なる活用と受注機会の拡大」をよろしくお願い申し上げます。

記

協会員の更なる活用と受注機会の拡大

### 2. 機関誌「方位」

県民の皆様、官公庁の皆様、学生の皆様が知りたい、知っておきたい情報は何かと毎年熟慮し検討しておりますが、今号は「デジタル・トランスフォーメーションの取組み」について特集を組みました。

近年、注目を集めているDX（デジタル・トランスフォーメーション）、デジタル化、デジタル人材育成が求められています。特集では国や県の取組み状況をはじめ、会員企業の取組みを紹介しています。

また、公益事業への取り組みでは、「愛知県学校農業クラブ連盟平板測量競技会」への支援、国土地理院中部地方測量部との協働による「測量の日」の関連事業として、県内小学校生徒を対象に関催されております「地図教室と測量体験学習」の様子を紹介しています。

協会トピックスでは、当協会会員企業で新たに社長に就任された新社長に、就任の抱負、同社の取り組み等を紹介していただきました。また、前号に引き続き、学生や転職入職者向けに、会員企業の新入社員（入社3年目）及び若手・中堅技術者からの投稿を掲載しています。

### 3. 協会ホームページ

当協会のホームページは、一昨年新規コンテンツ（若手社員の声、中堅技術者の声）を増設し、その後変更しておりません。今後も業界の情報発信の場として、また、広報活動の一環として運用してまいりますので活用ください。

「方位」及び「協会ホームページ」については関係各位からのご意見・ご要望等をしっかりとリサーチし、内容をさらに充実させ皆様のニーズに応えていくよう努力してまいりますので、何卒、ご支援・ご協力お願い申し上げます。

## 測量委員会報告

委員長 川崎 敏昭  
副委員長 吉本 三広  
副委員長 柴田 修身

測量委員会は、測量技術の向上と改善のため関係機関と調整を図り、各種研修会への講師派遣や将来の測量技術者育成のための活動を行っております。

### 1. 測量研修会

県及び市町職員の測量知識の研鑽と実務体験を目的に、講師の若返りも図りつつ県内2ヶ所の建設事務所と市に講師を派遣し研修会を実施しました。

#### 【カリキュラム】

「測量業務とは」の講義

「TSの応用」中心線測量の講義及び実習

#### 【開催概要】

令和2年10月29日 豊田市役所  
(実習のみ；水準測量)

令和2年10月14日 一宮建設事務所

令和2年10月27日 知多建設事務所  
参加者計名 50名



### 2. 用地研修会

県の用地経験1年以上の職員を対象に、自治研修所に講師を派遣し研修会を実施しました。



#### 【カリキュラム】

表示登記・用地測量」の講義

#### 【開催概要】

令和2年8月19日 愛知県自治研修所  
参加者計 24名

### 3. 愛知県学校農業クラブ連盟測量競技会支援

連盟からの要請により協会会員8社10名のご協力を頂き、競技会の審査について令和3年度測量競技会を支援いたしました。

#### 【開催概要】

令和3年6月9日に愛知県立稲沢高等学校にて開催結果など活動の詳細については、「公益事業への取組み」のページをご覧ください。

### 4. 小学校での地図教室

「測量の日」関連事業として、愛知県内2校の小学校を対象に、国土地理院中部地方測量部と合同で「地図教室と測量体験」を実施しました。

#### 【開催概要】

令和3年6月18日 江南市立布袋北小学校

令和3年7月2日 蒲郡市立中央小学校

活動の詳細については、「公益事業への取組み」のページをご覧ください。

上記活動以外にも、測量無料相談への対応、愛知県研修会への講師派遣、地理空間情報産学官中部地区連携協議会への参加などの活動を行っています。

各活動の実施にあたっては、多数の会員企業の皆様にご協力をいただきました。紙面をお借りし感謝申し上げます。

## 建設コンサルタンツ委員会報告

委員長 尾藤 宜伸

副委員長 石堂 公彦

副委員長 國島 正彦

建設コンサルタンツ委員会では、愛知県(Aichi)で社会資本(Infra)整備に携わっている愛知県測量設計業協会会員の技術力向上及び地域貢献への支援を目的として、「3つのA・I活動」を展開している。

## 1. 令和2年度 活動報告

## 1.1 シビルエンジニアA・I

(コミュニケーション向上を目指す意見交換会)

受発注者が日常業務について意見交換し、円滑な業務の遂行を図ることを目的とする。

豊田加茂建設事務所で①働き方改革の取り組みについて②品質確保についての意見交換会を3密回避、規模縮小、WEB会議方式の採用などを含めて開催の方向で、協議を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明なため、令和3年度に延期となった。

## 1.2 アソシエーションA・I

(品質向上を目指す現場研修会)

発注者、設計者、施工者の3者で行う現地研修会及び意見交換会を通じて、公共事業の円滑な進行と品質の向上を目的とする。

海部建設事務所及び津島土木研究会と調整し、開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の開催を見合わせ令和3年度に改めて検討することとなった。

## 1.3 産官学A・I

最近豪雨災害が多発しており、その災害対応～備えまでを行うことが重要と考え、3年程度かけて勉強する。本活動は危機管理委員会と連携して行う。

初年度の豪雨災害のメカニズムについて講演会に引き続き、愛知県内の水害の把握を行い、会員への情報発信を検討したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の開催を見合わせ令和3年度に改めて検討することとなった。

## 2. 令和3年度の活動予定

## 2.1 シビルエンジニアA・I意見交換会

豊田加茂建設事務所①働き方改革の取り組みについて②品質確保についての意見交換会を3密回

避、規模縮小で開催に向けて、協議を進めています。

## 2.2 アソシエーションA・I現場研修会

海部建設事務所及び津島土木研究会と調整し、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、WEBの積極的な活用により開催に向けて協議を進めています。

また、改正品確法の制定によるインフラの品質確保、頻発する災害対応などの重要性が高まっており、発注者、設計者、施工者の技術力向上及び3者間連携を進める観点から、次年度以降の円滑な開催に向けて県建設企画課、愛知県土木研究会と事業の意義・目的および役割分担等の協議を行い、実施要領を作成した。

新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明な中、現時点では開催は困難な状況にあるが、今後の状況を踏まえて開催可否を判断する。

## 2.3 産官学A・I(危機管理委員会と共催)

愛知県下における災害の特色と対策を学び、更には災害査定・復旧支援に繋げるために協会員自社のBCP・BCMの策定に役立つ情報の取得を目的とする。

今年度は戸田教授による講義、協会員参加のディスカッションにより浸水被害への情報を共有する講習会を開催する。開催方法は新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、リモート開催とし、内容は以下の通りである。

## ①愛知県下の災害の特色および対策等の概要(講習)

講師：名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻  
水工学講座 戸田祐嗣教授

内容：「東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会」  
の中間報告を踏まえ、愛知県エリアでの大規模水害時の浸水状況、流域治水等の講義

## ②ディスカッション等学びの場(グループワーク)

参加者：エリア考慮した協会員6名

内容：浸水被害のリスク把握や対応方法、今後の取り組み方法について情報交換を行い、浸水被害を対象としたBCPやタイムラインの構築に役立つ情報を共有する。

## 危機管理委員会報告

委員長 小中 達雄  
副委員長 早川 正喜  
副委員長 山本 成竜

### 1. はじめに

平成28年度に新設された「危機管理委員会」は、協会並びに会員の危機管理体制を強化する活動をしています。委員会のテーマを“危機管理体制の整備とBCMの確立～体制と連携の強化～”とし、委員会をタイムライン部会（主に対外関連）とBCP部会（主に協会内関連）に分けて活動を進めています。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症により委員会活動への影響もありましたが、各部会の活動実績を報告いたします。

### 2. 主な活動内容

#### 2.1 タイムライン部会

会員の災害関連業務に関する技術力の向上及び継承を目的とした研修会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン形式で開催いたしました。参加者は90名程度と盛況で参加者からも大変好評でした。また、内容についても災害対応に関する意識の向上が見受けられる研修会となりました。

##### (1) オンライン災害復旧等関連業務研修会

日時 令和2年11月27日（金）  
参加者 愛測協/危機管理委員会・会員企業各社  
テーマ 「協会BCPについて」、「災害復旧等関連業務の全体の流れ、留意点について」、「災害復旧等関連業務の事例紹介について」「測量に関わるICT機器のご紹介及びUAVレーザー測量の活用事例」  
講師 危機管理委員会 委員長 小中 達雄  
危機管理委員会 副委員長 早川 正喜  
危機管理委員会 副委員長 山本 成竜  
危機管理委員会 委員 河 正根  
ニチコンサルタント(株) 課長 小島 由梨乃



##### (2) 3県合同「災害時における中部地区県測協の応援協力に関する協定」についての意見交換会

日時 令和2年12月4日（金）  
参加者 (一社) 岐阜県測量設計業協会  
(一社) 静岡県測量設計業協会  
(一社) 愛知県測量設計業協会  
テーマ 「災害時における中部地区県測協の応援協力に関する協定」  
議事 「全国測量設計業協会連合会中部地区協議会の協定について」「各測協の現状・情報共有」「各県での通常災害時の対応状況」「協定の具体化に必要な今後の進め応方について」



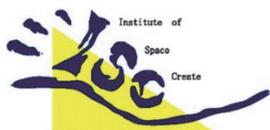
令和2年12月に（一社）岐阜県測量設計業協会、（一社）静岡県測量設計業協会と3県合同で、協定に関する意見交換会を開催いたしました。この意見交換会では平成23年度に協定を締結した内容について意見を交わし、より具体的な内容に詰めていくことを目的としています。今後も意見交換と議論を重ね、より良い内容を模索してまいります。

#### 2.2 BCP部会

##### (1) 災害連絡訓練

令和2年9月4日（金）愛測協事務局において、愛知県建設企画課、9建設事務所、2港務所の担当部署及び会員の皆様にご協力いただき、災害緊急時連絡訓練を行いました。オンラインシステムを活用し、滞りなく連絡訓練を実施することができました。以上

# 会員紹介（ア行）



## 株式会社 アイエスシー

### 1. 会社概要

所在地：〒466-0059

名古屋市昭和区福江二丁目9番33号

TEL：052-882-1201 FAX：052-882-1303

URL：http://www.iscngo.co.jp

創立：昭和63年1月

代表者：森 富雄

従業員：30名

支店・事務所：一宮市・豊田市・豊橋市・豊川市  
岐阜県・三重県・北海道

### 2. アイエスシーとは

弊社は「空間を創造し、人と自然をコーディネートする」をキーワードに、環境に優しい建設コンサルタントとして、社会資本整備および地域貢献に取り組んでいます。街づくりは、地域の人々が安心し、安全に生活できる社会づくりであるべきだと考えます。安心・安全な社会は、地震、津波、水害などの自然災害に強く、地域の人々を事故や犯罪から守るものでなければなりません。また公共施設は、ユニバーサル・デザインによりあらゆる人が利用できるよう配慮がなされ心の豊かさを支える自然との共生、アメニティー(快適性)の高さも求められます。

弊社の仕事は、皆さんの生活に溶け込んでいます。毎日利用される道路や橋かもしれません。目には見えませんが、各家庭と河川、海を結ぶ下水道かもしれません。あるいは人々の憩いの場となる公園であることもあります。わたしたちは、地域の人々の安心安全を守る社会づくりを応援します。



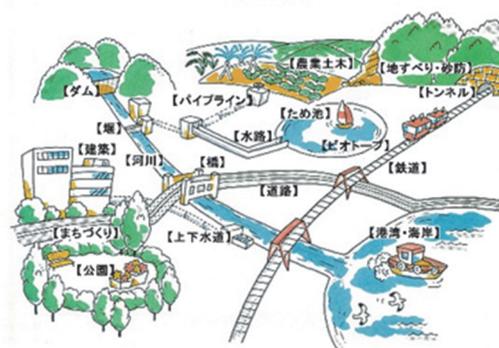
本社入居ビル

### 3. 事業内容

弊社は昭和63年1月に創立し、当初はダム・堤防や地盤の挙動解析に特化した会社としてスタートしましたが、現在の事業内容は、建設コンサルタント全般と、一般測量を主に行っています。

建設コンサルタント登録は、道路部門、鋼構造及びコンクリート部門、河川、砂防及び海岸・海洋部門、下水道部門、上水道及び工業用水道部門、農業土木部門、土質及び基礎部門、都市計画及び地方計画部門の合計8部門です。

令和3年には名古屋市緑政土木局より、優秀業務表彰を2件受賞しました。



### 4. 若手育成の取り組み

弊社は、『次世代への技術継承』をテーマに、社内研修はもちろんのこと社外研修も積極的に取り組んでいます。また資格取得支援に力を入れており、受験料等の費用の負担や講習会への参加を支援しています。

社員教育だけではなく、大学からの要請により毎年、非常勤講師として、学部生はもちろんのこと修士コースや博士コースの学生に対しても講師を派遣しております。

弊社は、安心・安全への取り組みはもちろん、技術力・資質の向上を目指して、多くの方々に信頼して頂けるよう社員一同精進しています。





～価値ある技術を創造する～

## 株式会社 あづま

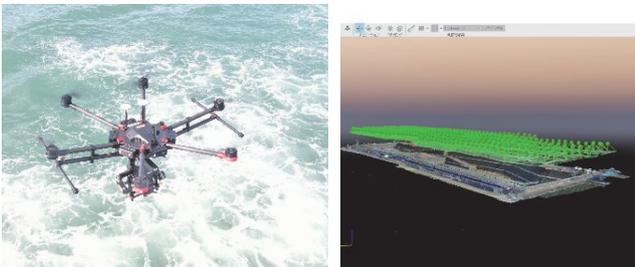
### 1. 会社概要

所在地：豊橋市多米西町一丁目 20 番地 9  
TEL：0532-63-1255 FAX：0532-63-8075  
URL：http://www.631255.jp  
e-mail：aduma@631255.jp  
創業：1966年2月（創業55年）  
代表者：代表取締役 柴田 修身  
支店：名古屋／新城  
登録：測量業  
建設コンサルタント業  
補償コンサルタント業  
一級建築士事務所  
従業員：29名

### 2. 事業内容

当社が提供する主なサービスとして、土地開発事業者や、公共事業等の発注者の技術的パートナーとして、企画立案、測量調査、設計・施工計画、インフラ設備の長期寿命化に向けた管理、不動産登記業務などの技術的サービスを行っている。  
特に、測量、土木設計などが得意なところである。

- ☑ 建設コンサルタント
- ☑ 補償コンサルタント
- ☑ 測量調査事業
- ☑ 登記事業
- ☑ 開発許認可事業



◆ドローンを使った3次元写真測量イメージ

今後、進むことが予測される業界再編、技術者不足などの対策として、ICT技術の積極的な導入と活用により、持続的発展、業務の効率化、働き方改革などの取組みに挑戦している。

### ◆最新鋭の測量機器



### 3. 経営方針

当社、株式会社あづまは1966年に創業以来（創立55年）、愛知県、特に地元の東三河地方を中心に活動。測量調査、土木設計を主軸に計画、立案から不動産登記、維持管理までワンストップで技術提供型サービスができる企業を目指し挑戦し続けています。

#### ★経営理念★

『誠実に対応し 培った知恵と技術を振り絞り 豊かな社会の実現に貢献する』  
常にお客様に誠実にお応えし、多様化する時代に挑戦しプロフェッショナル意識を持って  
自由な発想と技術で高い価値を生み出し  
そして、社会の発展に貢献し全力で取組む姿勢を決意している。



地域の災害時への要請に迅速に活動できるよう地元市町村との災害協定を結び地域社会貢献にも積極的に取り組んでいます。



## 1. 会社概要

所在地：〒456-0018

名古屋市熱田区新尾頭2丁目2番32号  
勢州館金山ビル内

TEL：052-684-5684 FAX：052-684-5606

URL：http://www.arrow-c.co.jp/

創立：昭和46年11月

代表者：代表取締役 栗山 智明

従業員：46名

## 2. 沿革

当社は昭和46年11月に名古屋市北区にて創立し、農業土木と河川・砂防を中心として測量・調査・設計を通じて県内の農業基盤・社会資本整備を担ってきました。

平成29年4月に名古屋市熱田区新尾頭に本社を移転し、令和3年、創立50周年を迎えます。

## 3. 経営理念

当社は、「①地域の建設コンサルタントとして小さくとも一流を目指す。②顧客に喜ばれ、社会に貢献する。③「ARROW'S 5WAY」を持ち進化する。」を経営理念としています。

ARROW'S 5WAYはアローの英文字を頭文字とした単語を用い、「A:Action」「R:Road ,River Design and Agricultural Engineering」「R:Resilience」「O:Organize」「W:World」をキーワードにして「自ら行動を起こし、専門技術力を高め、しなやかさと団結力のある組織を持ち、世界に羽ばたこう」をスローガンとしています。



図1 ARROW'S 5WAY

## 4. 事業内容

農業土木部門は農業用水路・排水路、農業用ため池、用排水機場の設計、農業水利施設の機能保全計画、環境整備の計画設計を行っています。

河川・砂防部門は河川改修計画や河川護岸、樋門、雨水貯留施設、砂防えん堤の計画設計を行っています。道路、下水道部門の業務分野を広げています。



図2 農業用フィルダム 宝地池



図3 都市型水害を軽減する雨水貯留施設

## 5. おわりに

建設コンサルタントには、品質確保や生産性向上と働き方改革が求められています。このような課題の改善に努め、若手社員の採用・育成と技術の継承に力を入れ、働きやすい職場環境づくりとやりがいのある社会生活が送れるよう取り組んでいます。

今後も、顧客へ高い技術サービスを提供する企業として成長し続けていきます。

# 株式会社 大增コンサルタンツ

## 1. 会社概要

所在地：〒454-0828 名古屋市中川区小本2-14-5

TEL :052-363-1131 FAX:052-363-6045

URL : <https://www.ohmasu.co.jp/>

創立 : 昭和32年1月

代表者: 代表取締役 西出 剛大

従業員: 83名

## 2. 我が社のプロフィール

弊社は昭和36年11月に設立され、今年で60年目を迎えます。最高の仲間たちと「全社一丸」をモットーに設計コンサルタント・測量・補償コンサルタントを中心とした総合建設コンサルタントへと成長する事が出来ました。現在は「世界最強・最先端のものづくり地域」の実現に向け中部圏の社会資本整備に貢献する企業を目指しています。

## 3. 我が社のイチオシ！

わが社のイチオシはワークライフバランスへの取り組みです。「時間外労働の上限規制」が令和2年度から中小企業に適用されました。弊社は全社一丸で働き方改革に取り組み、令和元年度には大幅に時間外労働を削減し、万全な準備態勢を整える事が出来ました。

これは専門家である社労士の助言のもと、弊社の生産性を損なう事なく労働時間の上限規制を上回らないためには何をすれば良いか、計画的に進めてきたからです。単に労働時間を減らすだけでなく、生産性向上・仕事のやりがいにも着目しました。結果として効果の薄い作業の撤廃・ITを活用した業務効率化・社員の意識改革に繋がりました。

今では「常に変わる」という風土に順応し始めましたが、我々が一番苦労したのは過去のやり方を変える事でした。未経験のチャレンジは結果が見えない為、初めの一步が不安でしたが、全社員の誰もが想像していなかった快適な職場環境へと変化し続けています。

建設コンサルタンツ協会の「協会会員一斉ノー残業デー」に積極参加する事によって定着したノー残業デー、プレミアムフライデーから考えた、月末の金曜日

17:00 退社の「リフレッシュライダー」は社員のワークライフバランスを大きく変えています。



写真1 社内餅つき大会

## 4. 最近のトピックス

働き方の改革と同時に社屋のリノベーションを行いました。オフィスデザインの専門家の視点から、各部署に適したレイアウトを検討することで、個々の業務効率やオフィス内の稼働率向上が実現しました。また本社は海拔0m地帯で水害に弱いため、社屋の電気やインターネットの電源を最上階に移動する等BCP対策も行いました。企業活動が効率的に稼働する環境は、社員が顧客満足度の向上に集中出来る環境だと実感しています。現在はノー残業デーの終業前10分間、「断捨離タイム」を実施しキレイな職場を維持しています。

このリノベーションで大きく変わったのは、見た目のレイアウトに加え、多くのコミュニケーションが生まれた点です。全社一丸で変えようとした結果、全社員の意識が変わったのだと実感しています。



写真2 リノベーション後の玄関

# 紹介

## 顧問紹介（敬称略）

### 顧問団長



### 久保田 浩 文・(くぼた ひろふみ)

愛知県議会議員（稲沢市選出、当選7回）平成23年5月 顧問就任

- 略歴 昭和28年生
- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| 昭和50年3月  | 日本大学経済学部卒業              |
| 平成7年4月   | 愛知県議会議員当選               |
| 平成13年5月  | 愛知県議会 企画環境委員会委員長        |
| 平成19年5月  | 愛知県議会 議会運営委員会委員長        |
| 平成20年5月  | 愛知県 監査委員                |
| 平成21年10月 | 自由民主党 愛知県支部連合会組織委員長     |
| 平成22年5月  | 自由民主党 愛知県支部連合会副会長       |
| 平成25年5月  | 愛知県議会 議長                |
| 平成26年6月  | 自由民主党 愛知県支部連合会幹事長       |
| 平成27年5月  | 愛知県議会 中京大都市圏形成調査委員会委員長  |
| 平成29年5月  | 愛知県議会 安全・安心対策特別委員会委員長   |
| 令和2年5月   | 愛知県議会 人づくり・福祉対策特別委員会委員長 |

### 顧問



### 杉 浦 孝 成・(すぎaura たかしげ)

愛知県議会議員（高浜市選出、当選5回）平成27年5月 顧問就任

- 略歴 昭和23年生
- |         |                             |
|---------|-----------------------------|
| 昭和41年3月 | 県立刈谷商業家庭高等学校卒業              |
| 平成15年4月 | 愛知県議会議員当選                   |
| 平成19年5月 | 愛知県議会 警察委員会委員長              |
| 平成20年5月 | 愛知県議会 少子高齢化・人づくり対策特別委員会副委員長 |
| 平成21年5月 | 愛知県議会 地域振興環境委員会副委員長         |
| 平成23年5月 | 愛知県議会 地域振興環境委員会委員長          |
| 平成27年5月 | 愛知県議会 副議長                   |
| 平成29年5月 | 愛知県議会 議会運営委員会委員長            |
| 令和元年5月  | 自由民主党愛知県議員団長                |

顧問



佐藤 一志・(さとう かずし)

愛知県議会議員（知多市選出、当選3回）平成27年5月 顧問就任

- 略歴 昭和28年生  
昭和45年3月 流通経済大学卒業  
平成23年4月 愛知県議会議員当選  
平成27年5月 愛知県議会 健康福祉委員会委員長  
平成30年5月 愛知県議会 総務県民委員会副委員長  
令和2年5月 自由民主党愛知県議員団総務会長

顧問



飛田 常年・(ひだ つねとし)

愛知県議会議員（蒲郡市選出、当選3回）令和元年5月 顧問就任

- 略歴 昭和32年生  
昭和56年3月 愛知大学法経学部経済学科第Ⅱ部 卒業  
平成23年4月 愛知県議会議員当選  
平成27年5月 愛知県議会 振興環境委員会 委員長  
平成29年5月 自由民主党愛知県議員団総務会長

## 役員名簿

(一社) 愛知県測量設計業協会

顧問団長	久保田 浩 文	愛知県議会議員
顧問	杉 浦 孝 成	愛知県議会議員
〃	佐 藤 一 志	愛知県議会議員
〃	飛 田 常 年	愛知県議会議員
会 長	今 村 鐘 年	中部復建(株)
副会長	青 木 拓 生	(株)拓工
〃	梶 川 洋	(株)梶川土木コンサルタント
理 事	久 松 顕	久松測量設計(株)
〃	永 草 新 吾	(株)中部テック
〃	川 崎 敏 昭	(株)カナエジオマチックス
〃	尾 藤 宜 伸	中日本建設コンサルタント(株)
〃	小 中 達 雄	玉野総合コンサルタント(株)
〃	森 康 彰	(株)アイエスシイ
〃	西 出 剛 大	(株)大增コンサルタント
〃	服 部 真 澄	(株)名邦テクノ
〃	吉 本 三 広	(株)石田技術コンサルタント
〃	柴 田 修 身	(株)あづま
〃	石 堂 公 彦	(株)新日
〃	國 島 正 彦	協和調査設計(株)
〃	早 川 正 喜	早川都市計画(株)
〃	山 本 成 竜	(株)愛河調査設計
監 事	藤 本 博 史	中央コンサルタント(株)
〃	長谷川 英 輝	公認会計士・税理士(北斗中央税理士法人)
事務局長	安 藤 賢 一	(一社) 愛知県測量設計業協会

[委員会]

<p><b>総務委員会</b></p> <p>① 法人の管理運営 ② 入退会及び表彰 ③ 独禁法の遵守及び相談 ④ 測量設計業務の実態調査及び解析 ⑤ 会員の資質向上に関する研修会の開催 ⑥ その他、他の委員会に属さない事項</p>	<p>委員長 久松 顕 副委員長 森 康 彰 委員 酒井 誠 " 永田 行 活 " 浜田 哲 也 " 高木 喜 一 " 川口 英 朗</p> <p>委員 伊藤 俊 行 " 坂野 晃 嗣 " 岩木 利 志 " 宇佐 美 明 担当副会長 梶 川 洋</p>
<p><b>広報委員会</b></p> <p>① 発注機関への要望活動 ② 機関紙「方位」の発刊 ③ 協会・測量設計業の啓蒙啓発 ④ その他広報に関する事項</p>	<p>委員長 永草 新 吾 副委員長 西出 剛 大 " 服部 真 澄 委員 香村 信 男 " 安藤 健 一 郎 " 須藤 一 彦 " 山本 章 好</p> <p>委員 川 澄 功 " 加藤 健 司 担当副会長 梶 川 洋</p>
<p><b>測量委員会</b></p> <p>① 測量技術(地理空間情報等)の研鑽 ② 研修会及び講師派遣(国・県・市町村等) ③ 測量設計無料相談(一般県民等) ④ 「測量の日」(国土地理院)記念事業の実施 ⑤ その他測量(用地業務含む)に関する事項</p>	<p>委員長 川崎 敏 昭 副委員長 吉本 三 広 " 柴田 修 身 委員 林 浩 司 " 中村 竜 平 " 中谷 正 和 " 鈴木 守</p> <p>委員 鈴木 善 晴 " 河村 利 由 紀 " 浅野 強 " 樋口 悟 " 早川 友 幸 " 大西 俊 次 担当副会長 青木 拓 生</p>
<p><b>建設コンサルタンツ委員会</b></p> <p>① 建設コンサルタント業務の技術の向上・改善 ② 事業領域の拡大・研究 ③ 会員の技術向上に関する研修会 ④ その他建設コンサルタンツに関する事項</p>	<p>委員長 尾藤 宜 伸 副委員長 石堂 公 彦 " 國島 正 彦 委員 伊藤 寿 浩 " 山田 秀 穂 " 奥村 和 夫</p> <p>委員 廣田 保 雄 " 山田 雅 登 " 池田 健 一 担当副会長 青木 拓 生</p>
<p><b>危機管理委員会</b></p> <p>① 災害等緊急時体制の整備・充実 ② 災害等緊急時における技術支援 ③ 協会・会員のBCP作成・支援</p>	<p>委員長 小中 達 雄 副委員長 早川 正 喜 " 山本 成 竜 委員 岸本 悦 典 " 河 正 根 " 小杉 哲 也 " 酒井 泰 明</p> <p>委員 濱田 常 雄 " 尾崎 富 男 " 前田 勝 美 " 種村 拓 麻 担当副会長 青木 拓 生 " 梶 川 洋</p>

## 会員名簿一覧

## 正会員

会社名	代表者名	郵便番号	住所	E-mail	TEL
(株)アイエスシー	森 富雄	466-0059	名古屋市昭和区福江2-9-33 nabi/白金2階	general@isc-ngo.co.jp	052-882-1201
(株)愛河調査設計	山本 成竜	457-0074	名古屋市南区本地通6-8-1	asso@aiga-cc.co.jp	052-819-6508
愛徳コンサルタント(株)	針間 崇義	470-0342	豊田市大清水町大清水38-10	aitoku-c@woody.ocn.ne.jp	0565-45-5557
(株)愛龍設計事務所	小栗 金夫	470-0373	豊田市四郷町森前2-2	airyu@hm6.aitai.ne.jp	0565-45-2935
(株)葵エンジニアリング	角田 安史	453-0018	名古屋市中村区佐古前町22-6	iso@aoi-eng.co.jp	052-486-2200
あおい建設コンサルタント(株)	濱崎 将志	461-0005	名古屋市中区東桜2-3-7	aoi@japan-net.ne.jp	052-933-2091
葵コンサルタント(株)	中川 恵子	444-2118	岡崎市河原町13-2	soumu@aoi-con.co.jp	0564-22-7058
(株)葵設計事務所	中西 慎仁	440-0085	豊橋市下地町2-51	soumu@aoi-sekkei.jp	0532-55-5263
(株)アクセス	赤松 光昭	448-0013	刈谷市恩田町1-159-1	access_survey@katch.ne.jp	0566-23-8667
(株)朝日設計事務所	朝日 烈	465-0024	名古屋市名東区本郷3-118	soumu@asahisekkeijimusho.co.jp	052-774-7181
(有)旭測量事務所	金子 郁男	440-0851	豊橋市前田南町1-4-12	surveyor@cello.ocn.ne.jp	0532-54-5934
(株)旭調査	村瀬 伸吾	468-0052	名古屋市中区天白区井口1-2017	asahi@asahi-c.co.jp	052-838-7721
(株)あづま	柴田 修身	440-0026	豊橋市多米西町1-20-9	aduma@631255.jp	0532-63-1255
アマノコンサルタント(株)	天野 隆俊	444-2131	岡崎市青木町22-5	info@amano-c.com	0564-45-2445
アローコンサルタント(株)	栗山 智明	456-0018	名古屋市熱田区新尾頭2-2-32 勢州館金山ビル内	soumu@arrow-c.co.jp	052-684-5684
(株)石田技術コンサルタンツ	吉本 三広	485-0028	小牧市東新町50	itcsom@itcnet.co.jp	0568-73-1085
井上測量設計(株)	佐々木康次	460-0001	名古屋市中区三の丸1-10-1 TLMビル3階	inoue-s@uranus.dti.ne.jp	052-212-5193
(株)宇井測量設計	宇井 源悟	470-1219	豊田市萩部西町西裏19番地1	uiss@lilac.ocn.ne.jp	0565-85-0830
N T C コンサルタンツ(株)	大村 仁	460-0003	名古屋市中区錦2-4-15 ORE錦二丁目ビル4階	eigyou.hn@ntc-c.co.jp	052-229-1701
(株)M S S	酒井 誠	454-0054	名古屋市中川区八剣町3-24	jimusyoo@kkms.co.jp	052-602-7715
(株)オオバ名古屋支店	市川 克己	460-0003	名古屋市中区錦1-19-24 名古屋第一ビル7階	info_na@k-ohba.co.jp	052-219-0083
(有)大場測量設計事務所	大場 孝男	444-0835	岡崎城南町3-4-3	ohba@mikaworld.com	0564-52-8505
(株)大增コンサルタンツ	西出 剛大	454-0828	名古屋市中川区小本2-14-5	soumu@ohmasu.co.jp	052-363-1131
(株)大屋測量設計	大屋 恵雄	451-0077	名古屋市中区西區笹塚町2-70 鳥見パークマンション306号	ohyav@sepia.ocn.ne.jp	052-908-0672
(株)梶川土木コンサルタント	梶川 洋	448-0037	刈谷市高倉町4-508	info@k-cc.co.jp	0566-24-6606
(株)カナエジオマチックス	川崎 敏昭	460-0012	名古屋市中区千代田1-12-5	kanal@kanal.co.jp	052-249-9611
(株)神田設計	吉川 明宏	451-0062	名古屋市中区花の木1-3-5	info@kanda-s.co.jp	052-522-3121
(株)協同コンサルタント	近藤 優	458-0801	名古屋市緑区鳴海町字中汐田84-1	info-mail@kyodoconsul.com	052-624-3311
協和調査設計(株)	江刺家 智	454-0839	名古屋市中川区篠原橋通2-44	soumu@ky-cs.co.jp	052-365-3711
(株)小嶋コンサルタント	町田 穂積	445-0804	西尾市緑町2-36	kojima-j@kojima-ss.com	0563-53-5331
コムワークスエンジニアリング(株)	今枝 晃	466-0058	名古屋市昭和区白金3-19-15	cw-bizcontact@com-worx.co.jp	052-884-8411
(株)酒井設計事務所	酒井 泰明	471-0827	豊田市平山町5-1	sakai@hm6.aitai.ne.jp	0565-27-1762
栄土地測量設計(株)	青山 貴洋	440-0806	豊橋市八町通4-49	info@sakaetochi.co.jp	0532-55-1230
(株)三愛設計	永田 行活	492-8144	稲沢市小池1-5-8	office@sanai-sekkei.co.jp	0587-32-8313
(株)サンキ	安藤健一郎	456-0032	名古屋市熱田区三本松町6-5	andou-k@3ki.co.jp	052-884-2555
三協調査設計(株)	浜田 哲也	460-0015	名古屋市中区大井町4-17	sohmu@sankyocon.co.jp	052-331-5371
敷島測量設計(株)	中島 正義	462-0014	名古屋市中区楠味鏡3-302	BCH10311@nifty.com	052-901-5005
設楽測量設計(株)	加藤 博俊	441-2302	北設楽郡設楽町清崎字岩井25-2	sitasoku@guitar.ocn.ne.jp	0536-62-1456
柴山コンサルタント(株)	加藤 銃彦	461-0011	名古屋市東区白壁1-69	eigyo@shibayama-consul.co.jp	052-961-0111
信栄測量設計(株)	高木 喜一	471-0024	豊田市元城町4-28	scc@ruby.ocn.ne.jp	0565-31-1113
新栄測量設計(株)	赤石 和彦	485-0044	小牧市常普請3-124	akakiko@r3.dion.ne.jp	0568-76-1755
新晃コンサルタント(株)	鈴木 善晴	462-0853	名古屋市中区志賀本通2-46	info@shinko-c.com	052-911-1286
(株)新日	秋山 学	454-0011	名古屋市中川区山王1-8-28	business@shinnichi.co.jp	052-331-5356
(株)伸和	林 清一	457-0863	名古屋市中区豊1-45-12	hayashi@kk-shinwa.com	052-692-0146
杉浦測量(有)	高木 清	444-0802	岡崎市美合町字西屋敷24-1	sugurass@smile.ocn.ne.jp	0564-51-0037
(株)須藤事務所	須藤 一彦	471-0842	豊田市土橋町4-67	bond@sudou.net	0565-29-0281
(株)成和コンサルタント	浅野 強	441-1375	新城市字的場15-2	seiwal@jeans.ocn.ne.jp	0536-23-6418
太栄コンサルタント(株)	川口 英朗	460-0012	名古屋市中区千代田3-26-18	kikaku@daiei-con.co.jp	052-332-3355
(株)大建コンサルタント	廣瀬 稔也	460-0011	名古屋市中区大須4-11-17	gyoumu@daikenc.jp	052-252-5171
(株)大地コンサルタント	山本 章好	440-0026	豊橋市多米西町1-5-5	ddm@daichi-c.jp	0532-21-6649

## 紹介

会社名	代表者名	郵便番号	住所	E-mail	TEL
(株)拓工	青木 拓生	456-0004	名古屋市熱田区桜田町15-22	kanri-ask@c-takko.co.jp	052-883-2711
玉野総合コンサルタント(株)	牧村 直樹	461-0005	名古屋市東区東桜2-17-14	ts-society@tamano.co.jp	052-979-9111
中央コンサルタンツ(株)	藤本 博史	451-0042	名古屋市西区那古野2-11-23	honsha-info@chuoh-c.co.jp	052-551-2541
(株)中建	岩木 利志	464-0823	名古屋市千種区松竹町1-40	chuken@k7.dion.ne.jp	052-762-1341
中部地域整備(株)	横山 辰夫	460-0002	名古屋市中区丸の内2-2-15	CRD@chance.ne.jp	052-201-2831
(株)中部テクノス	正岡 佳典	465-0024	名古屋市名東区本郷2-141	eb.ngy@c-aas.co.jp	052-768-4410
(株)中部テック	永草 新吾	465-0092	名古屋市名東区社台3-48	info@chubu-tech.co.jp	052-771-1251
中部土地調査(株)	上野 英和	451-0042	名古屋市西区那古野2-26-8	c-tochi@chubutochicyou.co.jp	052-565-1881
中部復建(株)	田中 信治	466-0059	名古屋市昭和区福江1-1805	eigyou@chubu-fk.co.jp	052-882-6611
司開発(株)	加藤 一弘	448-0028	刈谷市桜町1-10	info@tsukasa-kaihatsu.com	0566-23-1056
(株)つかもと	塚本 兼之	486-0927	春日井市柏井町2-59	soumu@tukamoto.co.jp	0568-31-7268
東亜測量設計(株)	亀井 幸隆	468-0064	名古屋市天白区道明町195	toua@toua-kk.com	052-832-7322
東栄測量設計(株)	松本 幸三	454-0961	名古屋市中川区戸田明正2-2210	t-soumu@touie.ecnet.jp	052-618-8760
(株)東海コンサルタンツ	中沢 真三	440-0862	豊橋市向山大池町17-11	main@tokai-con.jp	0532-53-3400
東洋測量設計(株)	松井 宗廣	462-0011	名古屋市北区五反田町81	somu@tc-toyo.co.jp	052-902-1811
中日本建設コンサルタント(株)	上田 直和	460-0003	名古屋市中区錦1-8-6 ONEST名古屋錦スクエア	webmaster@nakanihon.co.jp	052-232-6031
(有)西尾測量	西尾 榮司	471-0842	豊田市土橋町5-9-3	nishio-s@hm3.aitai.ne.jp	0565-29-7124
ニチイコンサルタント(株)	早川 友幸	491-0837	一宮市多加木2-9-3	NICHII@nichii.co.jp	0586-71-8781
(有)額田測量	高橋 有	444-2223	豊田市松平志賀町マゴイ10-14	nukataso@hm9.aitai.ne.jp	0565-86-1321
早川都市計画(株)	早川 正喜	471-0805	豊田市美里2-17-5	soumu@hayakawa-t.co.jp	0565-89-8068
(株)東愛知コンサルタント	宇佐美 明	441-8053	豊橋市柱二番町2-1	h_aichi@blue.ocn.ne.jp	0532-48-5665
久松測量設計(株)	久松 顕	492-8143	稲沢市駅前4-7-11	info@hisasoku.com	0587-21-4077
富士エンジニアリング(株)	寺本 博亘	464-0067	名古屋市千種区池下1-11-21 キンコト池下5階	a.takeuti@fuji-eng.co.jp	052-763-1616
不地弘測量設計(株)	太田 昭彦	470-0374	豊田市伊保町上北野49-2	fujikoh-ota@nifty.com	0565-45-8336
藤コンサル(株)	藤本 桂介	450-0002	名古屋市中村区名駅3-22-8 大東海ビル	eigyo@fuji-con.co.jp	052-433-1261
フジコンサルタント(株)	加藤 健司	497-0044	海部郡蟹江町大字蟹江新田字前波226	info@fujicon-c.co.jp	0567-96-1063
(株)丸太測量設計事務所	梅村 正明	471-0024	豊田市元城町2-8-2	marutas@estate.ocn.ne.jp	0565-32-5121
(株)メイトーテック	上山 義之	455-0003	名古屋市港区辰巳町1-44	k.yoshiyuki@meito-tech.co.jp	052-654-0363
(株)名邦テクノ	山崎 武男	457-0048	名古屋市南区大磯通6-9-2	soumu@meiho-techno.co.jp	052-823-7111
(株)名北総合技研	山田 雅登	462-0801	名古屋市北区新堀町49	eigyo@meihoku-sg.co.jp	052-981-4916
(株)横測	宮川 栄一	477-0037	東海市高横須賀町西組14	info@aichi-yokosoku.co.jp	0562-33-1294
リード測量設計(株)	音部祥一郎	444-0113	額田郡幸田町大字菱池字東部81	lead@viola.ocn.ne.jp	0564-62-6367
若鈴コンサルタント(株)	吉田 伸宏	452-0822	名古屋市西区中小田井5-450	soumu@wakasuzuc.co.jp	052-501-1361

## 準会員

会社名	代表者名	郵便番号	住所	E-mail	TEL
(株)フジヤマ名古屋支店	田畑喜久夫	464-0075	名古屋市千種区内山3-7-3	nagoya@con-fujiyama.com	052-734-4030
株ランド・コンサルタント中部支社	洞ノ口一伸	467-0862	名古屋市瑞穂区堀田通8-18 ウィズ77堀田201号室	chubu-b.o@land-c.co.jp	052-693-6218

## 賛助会員

会社名	代表者名	郵便番号	住所	E-mail	TEL
中京コピー(株)	嶋津 誠司	461-0001	名古屋市東区泉3-30-3	c-net@chukyocopy.co.jp	052-931-2611
(株)東海八嶋	嶋津 誠司	456-0004	名古屋市熱田区桜田町16-3	tohachi@chukyocopy.co.jp	052-931-7135
西尾レントオール(株)中部支店	濱田 雅義	460-0003	名古屋市中区錦1-6-17 オゾン錦ビル9階	masayoshi.hamada@nishio-rent.co.jp	052-203-8240
(株)日刊建設工業新聞社名古屋支社	横川 貢雄	461-0001	名古屋市東区泉1-22-22 TODAビル	nagoya@decn.co.jp	052-961-2631

# Trimble TCU5

使い慣れた着脱式スタイルで  
スムーズにワンマン/ツーマン観測

一体型？それとも手持ちタイプ？

Trimble S シリーズは観測スタイルに合わせてコントローラーが選べます！

横向きでも縦向きでも使える

視認性も操作性も抜群なハンディタイプ

# FZ-N1



## efitOne

Android OS 対応！

Trimble S シリーズ専用コントローラーソフトウェア

お問い合わせ先

トリンブルパートナーズ中部株式会社

本社 〒486-0817 春日井市東野町1丁目7番地12  
TEL : 0568-85-1824 FAX : 0568-85-1834  
URL : <http://www.trimble-chubu.com/>  
MAIL : [web@trimble-chubu.com](mailto:web@trimble-chubu.com)

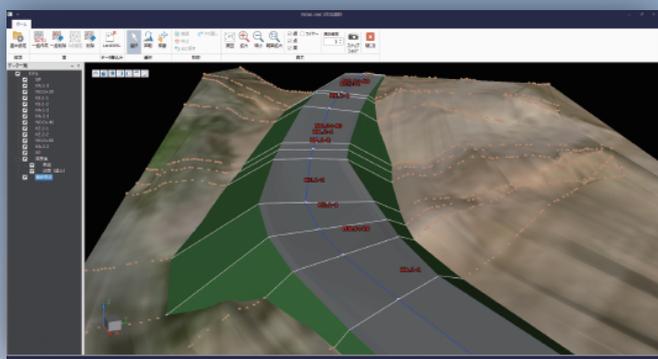
豊橋営業所 〒441-8068 豊橋市神ノ輪町45番地2  
TEL : 0532-35-9100 FAX : 0532-35-9102

三重営業所 〒514-0821 三重県津市垂水495  
TEL : 059-222-7180 FAX : 059-222-7181

# 3次元で、仕事が変わる。

加速するインフラ分野のDXを、3D対応ソフトウェアでサポートします。

## 測量CAD



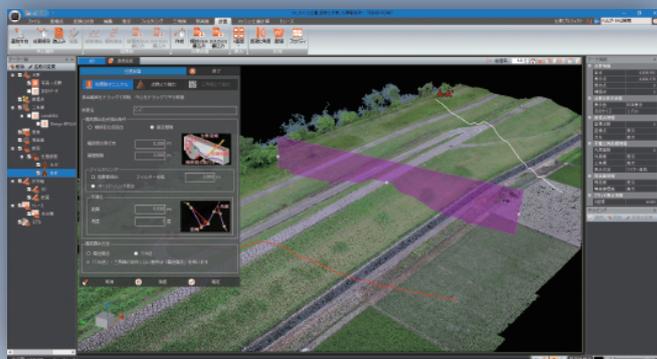
**TREND-ONE**

測量CADシステム【トレンドワン】



航空写真や点群データなど巨大なデータも手軽に扱えるパワーを備え、基準点・水準・用地・路線縦横断測量から、3次元計測、防災計画支援まで対応できる業界シェアNo.1の測量CADです。

## 3D点群

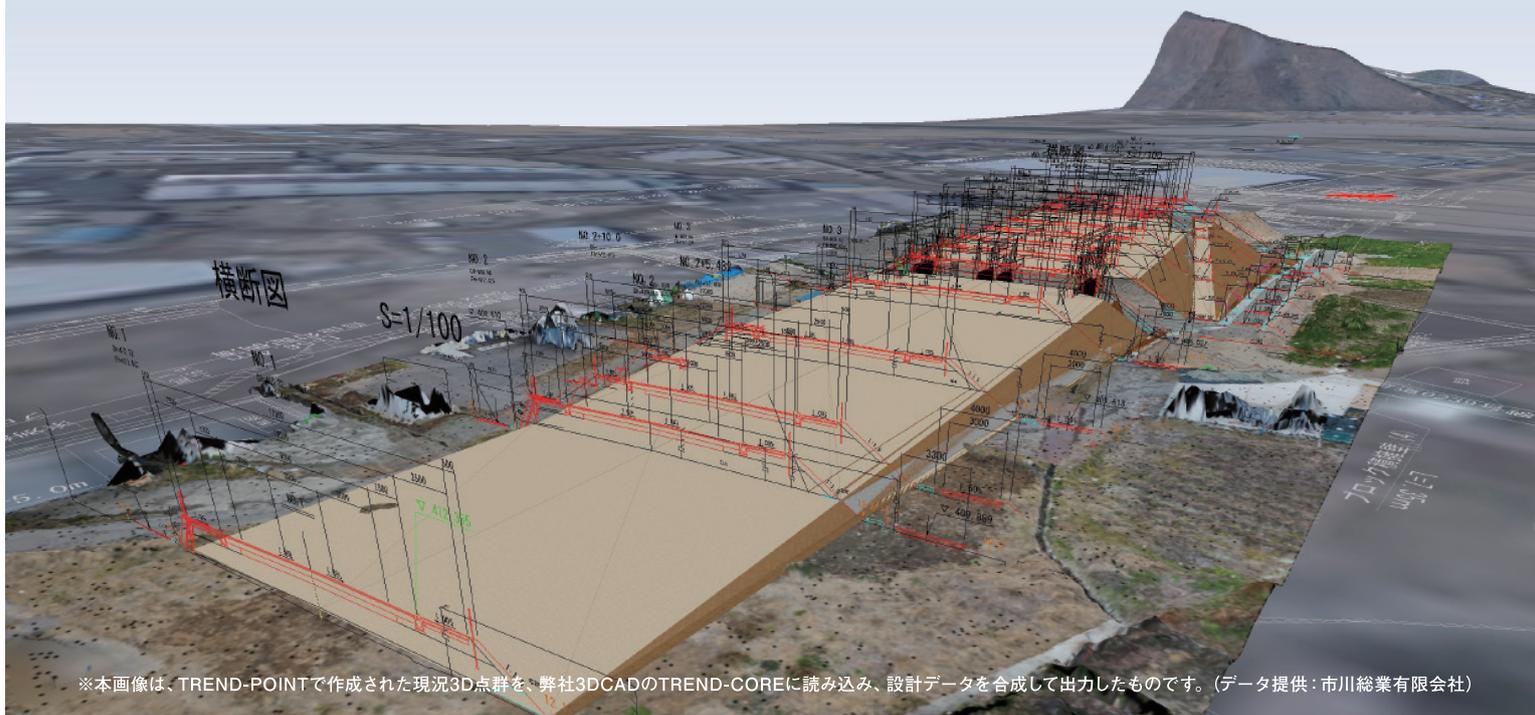


**TREND-POINT**

3D点群処理システム【トレンドポイント】



膨大な点群データも快適に扱い、豊富なフィルターによる加工や断面作成、メッシュ土量計算など、3次元計測に欠かせない機能を装備する3D点群処理システムです。



※本画像は、TREND-POINTで作成された現況3D点群を、弊社3DCADのTREND-COREに読み込み、設計データを合成して出力したものです。(データ提供：市川総業有限公司)

一般社団法人全国測量設計業協会連合会中部地区協議会  
 ～「グループ保険制度」のご案内～

一緒に働く仲間だからこそ、大切にしていきたい…そんな企業さまの想いに応えた保険制度です！

制度内容（企業負担型・個人負担型）

グループ保険制度は万一（死亡・高度障害）やケガでの入院等があった場合に保険金・給付金をお支払いします

申込 口数 (口)	一般の死亡・ 高度障害 【死亡・高度障害保 険金】 (万円)	不慮の事故による上乗せ給付		不慮の事故によるその他の給付		月払保険料 (円)
		不慮の事故による死亡 特定感染症による死亡 ※1 (万円)	不慮の事故による 高度障害 ※2 (万円)	不慮の事故による 身体障害 (程度により) ※3 (万円)	不慮の事故による 5日以上の入院 (120日を限度として) ※4 1日につき(円)	
		6	1,200	1,200	1,200	
5	1,000	1,000	1,000	350～50	7,500	4,250
4	800	800	800	280～40	6,000	3,400
3	600	600	600	210～30	4,500	2,550
2	400	400	400	140～20	3,000	1,700
1	200	200	200	70～10	1,500	850

◎本人コースの他に、配偶者コース・子どもコースもあります。  
 (配偶者コース・子どもコースは個人負担型のみ取扱い可能です。)  
 ◎記載の保険料は概算保険料です。  
 ◎保険料は、年齢に関係なく一律です。  
 ◎制度内容等詳細についてはパンフレットをご一読ください。

※1 災害保険金(災害割増特約より)  
 + 災害保険金(災害保障特約より)  
 ※2 災害高度障害保険金(災害割増特約より)  
 + 障害給付金(災害保障特約 給付割合表第1級)  
 ※3 障害給付金(給付割合表第2級～第6級)(災害保障特約より)  
 ※4 入院給付金(災害保障特約より)

「グループ保険制度」の特徴

●全測連中部地区協議会の福利厚生事業のひとつです。  
 ご加盟の企業さまのみご加入でき、企業さまにとっても以下のような効果があります。

- ★役員や従業員の弔慰金としてご利用いただけます！
- ★企業負担型の場合、保険料は原則、全額損金算入処理できます！
- ★計画的な支出が見込め、安定した経営につながります！

※企業負担型の場合、全員でご加入いただくことが条件です  
 ※個人負担型のご加入も可能です  
 ※企業負担型と従業員負担型、合わせてご加入いただくことも可能です(通算引当限度額2400万円)  
 ※税務の取扱いについては税制改正により今後変更となる場合がございます

MY-A-21-他-005615

配当金で実質負担は軽減

●1年ごとに収支計算を行い、剰余金は配当金と還付します。昨年度の配当率は約16.2%です。

※配当率は今後変動することがありますので将来のお支払いを約束するものではありません。  
 ※配当率はお支払い時期の前年度決算により決定しますので、将来お支払いする配当金額は現時点では確定していません。

\*\*\*\*\*

【ご質問・お問い合わせ先(引受会社)】

明治安田生命保険相互会社 中部公法人部法人営業第一部  
 TEL 052-951-9115

(時間：平日9:00～17:00まで)

\*\*\*\*\*

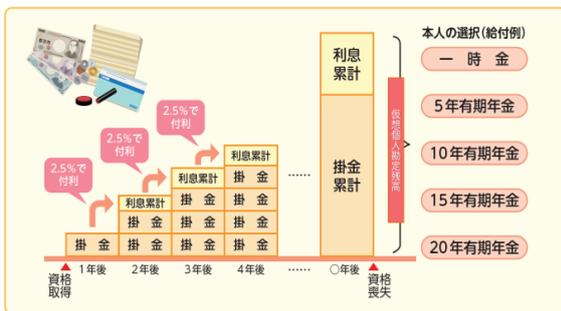


退職給付制度のご案内

厚生労働大臣の認可を受け設立された、測量・設計業界の確定給付企業年金制度です。

制度のしくみ

事業主様負担の掛金(全額損金算入可)に毎年2.5%の利息を付利して、加入期間に応じて一時金又は有期年金を退職(死亡)時に給付します。



●モデル給付(一時金又は有期年金)

加入年齢：20歳 平均標準報酬月額：340,000円

	60歳で退職	65歳で退職
◆一時金を選択すると	2,826,400円	3,447,500円
◆年金を選択すると	月額	月額
●受取期間 5年	50,183円	61,208円
●受取期間 10年	26,642円	32,492円
●受取期間 15年	18,833円	22,967円
●受取期間 20年	14,958円	18,242円



幅広い福祉事業

結婚・出産・就学・災害・死亡等に対する様々な慶弔見舞金、全国の宿泊保養施設の宿泊補助金等の支給を行います。

もう一つの年金制度「そくりょうDC」

税制優遇を受けながら老後資金の準備をする確定拠出年金制度。事業主様の掛金は定額で、将来の給付額は個人(従業員)の運用結果で変動します。

測量基金

検索

そくりょう&デザイン企業年金基金

〒162-8626 東京都新宿区山吹町11番地1

TEL: 03-3235-7211

保証事業を通じて  
安全で活力のある社会を創るための  
お手伝いをしています



### 東日本建設業保証株式会社

- 業務委託時の資金調達には
- 契約時の保証金納付に代えて

- ➡ 前払金保証
- ➡ 契約保証

### KKS 株式会社建設経営サービス

- 経営環境の変化へ柔軟に対応

- ➡ 経営コンサルティング

### NDN 日本電子認証株式会社

- 公共発注機関の電子入札には
- e-Tax,eLTAXによる税務申告に対応
- e-Govによる電子申請に対応

- ➡ AOSignサービス
- ➡ 法人認証カードサービス

各種お申込み・お問い合わせは

## 東日本建設業保証株式会社 愛知支店

〒461-0008 愛知県名古屋市東区武平町5-1 名古屋栄ビルディング3F

TEL 052-962-3461 FAX 0120-027-516

URL <https://www.ejcs.co.jp/>

# KANA L

建設コンサルタント

# 株式会社カナエンジニアリング

## ◆地理情報システム(GIS)関連事業

- ・空間情報を活用したソリューション
- ・オープンソースGISの導入
- ・GIS開発・運用管理

## ◆固定資産関連業務

## ◆建設コンサルタント

## ◆測量・調査

## ◆補償コンサルタント

▽ 創業50周年記念キャラクター  
「かなっぴい」



## おかげさまで創業50周年

これからも地域の皆様に貢献してまいります

本社 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田一丁目12番5号  
TEL : 052-249-9611 URL : <https://www.kanal.co.jp>

岐阜支店/三重支店/三河営業所  
岐阜営業所/瑞穂営業所



未来ある街づくりをサポートする  
総合建設コンサルタント「新日」

100年企業をめざして!  
新日 新時代へ



補償調査

測量調査

建設コンサルタント

建築設計

不動産鑑定

■ 本社  
〒454-0011  
名古屋市千川区山王1-8-28  
TEL 052-331-5356  
FAX 052-331-4010  
<https://shinnichi.co.jp>

■ 支店・営業所  
東三河、西三河、豊田、一宮、稲沢、岐阜、三重、  
伊勢、関西、関東、静岡、東北、福島

■ 関連会社  
(株)新日ホールディングス、新日土地家屋調査士法人、  
新日行政書士法人、(株)ミタス伊勢



測量・調査から情報整備、コンサルティングまで  
一貫したサービスを提供する『建設総合コンサルタント』



お問合せ窓口

名古屋・豊橋・豊川支店

名古屋支店 / 〒464-0075 愛知県名古屋市千種区内山 3-7-3-5F

豊橋支店 / 〒440-0004 愛知県豊橋市忠興 2-6-24

豊川支店 / 〒441-1231 愛知県豊川市一宮町栄 212

本 社 / 〒430-0946 静岡県浜松市中区元城町 216-19

営業所 / 浜松 磐田 袋井 掛川 島田 藤枝 富士 沼津 横浜 多摩 埼玉 千葉 山梨 西尾 三重 岐阜

※ 2021.06.01 名古屋支店、2020.11.01 豊橋支店を移転、2020.11.01 豊川支店を開設

Tel.052-734-4030 Fax.052-734-4031

Tel.0532-65-3030 Fax.0532-65-3031

Tel.0533-56-8600 Fax.0533-56-8601

Tel.053-454-5892 Fax.053-455-4619

おかげさまで  
1971創業  
50<sup>th</sup>  
anniversary

人々の「笑顔の基盤」を創造する総合建設コンサルタント

 株式会社 名邦テクノ

本社 〒457-0048 名古屋市南区大磯通六丁目9番地2

T E L 052-823-7111 F A X 052-823-7110

支店：豊田、東三河、静岡

営業所：岐阜、三重、長野、稲沢、西尾

- 建設コンサルタント
- 補償コンサルタント
- 測量
- 不動産鑑定
- 土壌汚染指定調査機関
- 宅地建物取引業者
- スtock点検調査
- ICT事業
- I S O 9001 : 2015
- エコ事業所
- A E D 設地事務所
- 通学路子供110番の家
- 地域防災協力事務所

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 中京コピー Paperless Solution 文書電子化サービス

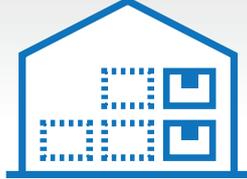
書類の電子化が快適なワークスタイルの鍵!



情報検索性・アクセス性が向上します



情報の共有及びコミュニケーション力がアップします



スペースコストが削減できます



文書の電子化には  
さまざまなメリットがあります



書類の紛失・劣化を防ぎます



いつでもどこでも  
データを利用できます



もしもの災害時にも安心  
(事業継続計画/BCP)

## 中京コピーは皆さまの『快適テレワーク』をサポート致します!!

テレワーク中、オフィスに保管してある資料を確認するために「やむなく出社した経験がある」という方が6割以上とのデータもございます。



文書情報管理士、電子ファイリング検定、ファイリング・デザイナーなど有資格者がサポートいたします! “何をどうお願いすればよいかかわらない”という方もまずはご相談ください。

### スキャニングセンター開設 生産力大幅アップ!!

この度、電子化需要の増加に伴い、新たにスキャニングセンターを開設しました。



 **中京コピー株式会社**

お問い合わせは  
こちらまで

[info@chukyocopy.co.jp](mailto:info@chukyocopy.co.jp)

<本社> 〒461-0001 名古屋市東区泉三丁目30番3号  
<東京事務所> 〒101-0021 東京都千代田区外神田4-12-9 ヒューリック秋葉原ビル6階  
<大阪事務所> 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-1-20 第1スエヒロビル503号  
<仙台営業所> 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4丁目8-17

TEL : 052-931-2611 FAX : 052-931-2366  
TEL : 03-6260-8570 FAX : 03-6260-8571  
TEL : 06-4862-5241 FAX : 06-4862-5251  
TEL : 022-399-6192 FAX : 022-399-6198



# 編集後記

広報委員会

副委員長 服部 真澄

本年度も機関誌「方位」を無事刊行することが出来ました。ご多忙にも拘わらずご寄稿いただきましたました愛知県建設局長道浦様、中部地方整備局中部インフラDX推進室様、愛知県建設局土木部建設企画課野澤様、会長初め協会会員皆様方に協力いただき厚く御礼申し上げます。

今年こそ終息すると思われた新型コロナウイルス感染症は、緊急事態宣言の発出が常態化され、緊急事態とはどう言う状態なのか何か訳が解らなくなっているのが本音です。

ただ、ワクチン接種も徐々に進んでおり、早く通常の生活に戻りたいものです。

昨年から楽しみにしていた「東京2020オリンピック」はコロナ禍にも拘わらず艶やかに開催されました。開会式も無観客となり多少寂しさは感じましたが、夜空に舞ったドローンのパフォーマンスは、驚きと感動を覚えました。ドローン演出に使用された最新式ドローンは4つのLEDを搭載、重さ340gの軽量で每秒11mまでの耐強風性が大きな特徴だそうです。測量では使う事はないと思いますが、色んな使い方があるものだと感心致しました。

さて、当協会においてはコロナ禍においても協会活動の継続を図るためにweb会議システムを導入致しました。長引く感染対策の影響のため従来の方法では活動を継続することが難しい状況であり、オンライン会議は理事会や委員会等で大いに活躍しております。

今回の方位の特集では「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」を取り上げさせて頂いております。コロナ禍で各企業はデジタルによる生産性向上に舵をきりつつあり、対応できる仕事は自動化し、より付加価値の高い作業にシフトする重要性が増して来ていると感じています。振り返ってみますと第40回の方位の特集ではi-Consturctionが取り上げられています。4年後の今回、更にデジタル化へのスピードが進み、アナログの私は時流に少しでもついて行けるようにしたいです。

この機関誌は、皆さま方の仕事等を通じての研究、事例の紹介、幅広い活動の中でのご意見を発表し、公私にわたるご活躍の一助に成ることを願っています。

今後も多くの方からの寄稿をお待ちしております。



あいちアール・ブリュット障害者アーツ展にて

『方位』 第44号

発行／ 令和3年10月20日発行

発行者／ 一般社団法人 愛知県測量設計業協会  
〒460-0002  
名古屋市中区丸の内3丁目19番30号  
愛知県住宅供給公社ビル3階  
TEL(052) 953-5021  
FAX(052) 953-5020  
E-mail:jimukyoku@aisokkyo.or.jp

編集／ 広報委員会  
委員長 永草新吾 委員 須藤一彦  
副委員長 西出剛大 委員 山本章好  
副委員長 服部真澄 委員 川澄 功  
委員 香村信男 委員 加藤健司  
委員 安藤健一郎 副会長 梶川 洋  
事務局

印刷／ 中京コピー株式会社